

大阪狭山市の教育や生涯学習 に関する市民アンケート

【結果報告書】

平成 26 年 5 月
大 阪 狭 山 市

目 次

調査の概要	1
__ 1 . 調査の目的	2
__ 2 . 調査概要	2
__ 3 . 報告書の見方	2
調査結果	3
__ 1 . 回答者の属性	4
__ 2 . 大阪狭山市の就学前教育・保育や学校教育について	12
__ 3 . 家庭教育・地域教育について	24
__ 4 . 大阪狭山市の生涯学習・文化・スポーツなどについて	32
__ 5 . 大阪狭山市への愛着や市の特長・誇りについて	50
__ 6 . 教育に関する施策全般について	53
参考資料	59
__ < 年齢別男女別、子の有無別クロス集計集 >	59
__ 1 . 集計結果のまとめ	59
__ 2 . 年齢別男女別クロス集計	62
__ 3 . 子の有無別クロス集計	87
__ < アンケート調査票 >	98

調査の概要

1 . 調査の目的

本調査は、市民の教育や生涯学習、文化・スポーツ（レクリエーション含む）活動などに対する意識を把握し、今後5年間の大阪狭山市の教育の方針となる「大阪狭山市教育振興基本計画」を策定していくうえでの基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 . 調査概要

- ・ 調査地域 : 大阪狭山市全域
- ・ 調査対象者 : 大阪狭山市に住む15～84歳の市民1,000人を対象
- ・ 調査期間 : 平成26年1月16日（木）～1月31日（金）まで
- ・ 調査方法 : 郵送配布・郵送回収による郵送調査法

配布数	回収数	回収率
1,000	506	50.6%

3 . 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

調查結果

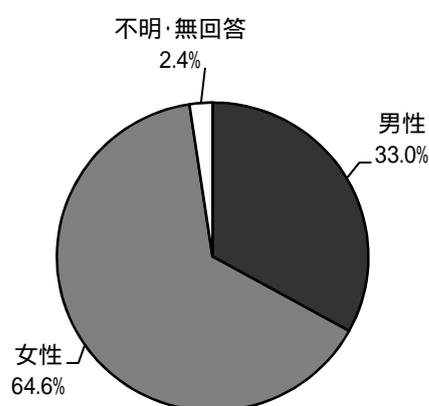
1. 回答者の属性

問1 性別（単数回答）

性別についてみると、アンケート結果では「男性」が33.0%、「女性」が64.6%となっています。

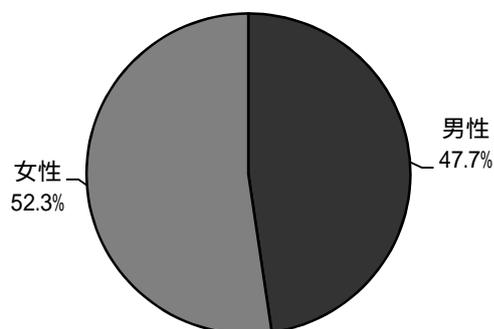
平成26年1月31日現在における大阪狭山市の15～84歳の男女比率では「男性」が47.7%、「女性」が52.3%となっています。このことから、女性の回答率が高くなっていることが伺えます。

N=506



[参考:大阪狭山市の15～84歳の男女比率]

総数=48,168

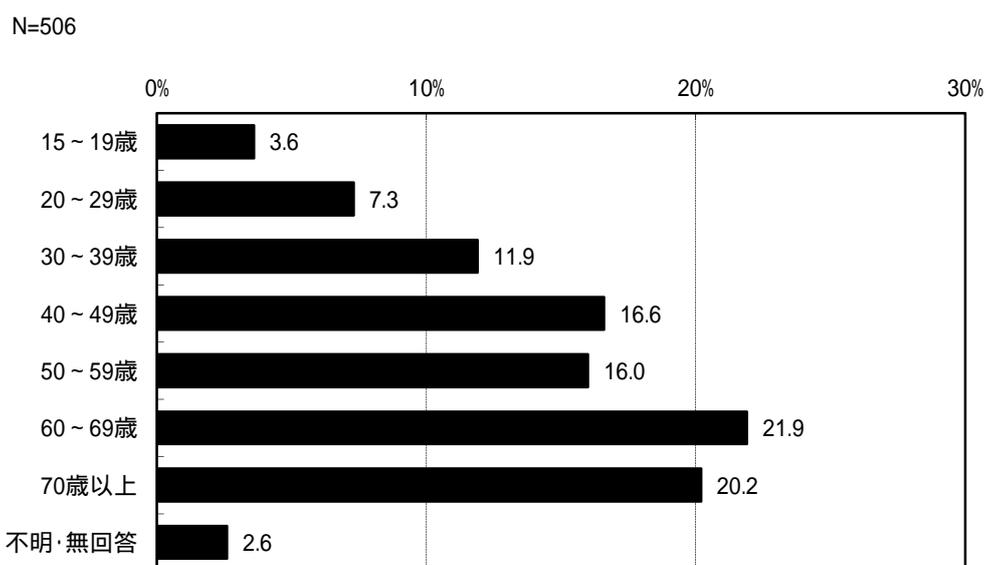


資料:大阪狭山市HPより(平成26年1月31日現在)

問2 年齢（単数回答）

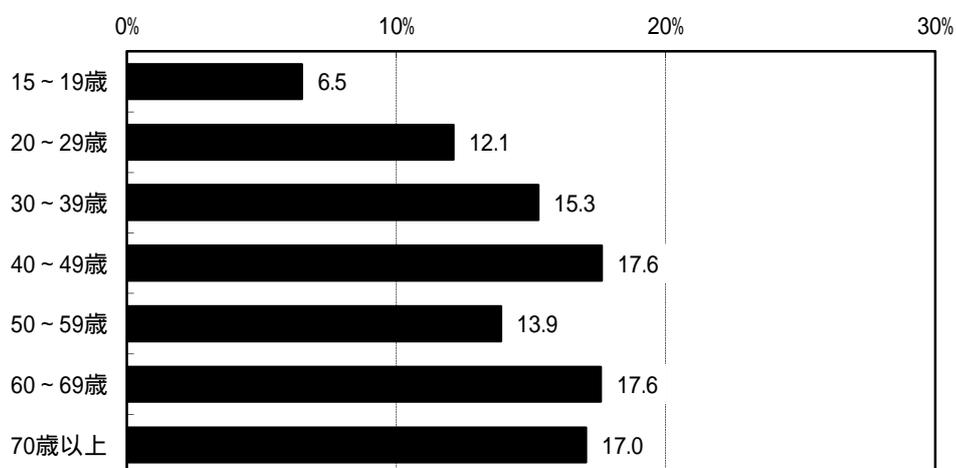
現在の年齢についてみると、「60～69歳」が21.9%と最も高く、次いで「70歳以上」が20.2%となっています。続いて「40～49歳」「50～59歳」が16%台となっており、ほぼ並んでいます。

平成26年1月31日現在における大阪狭山市の15～84歳の年齢比率では「40～49歳」「60～69歳」「70歳以上」が17%台となっており、ほぼ並んでいます。このことから、比較的高齢者の割合が高くなっていることが伺えます。



[参考: 大阪狭山市の15～84歳の年齢比率]

総数=48,168

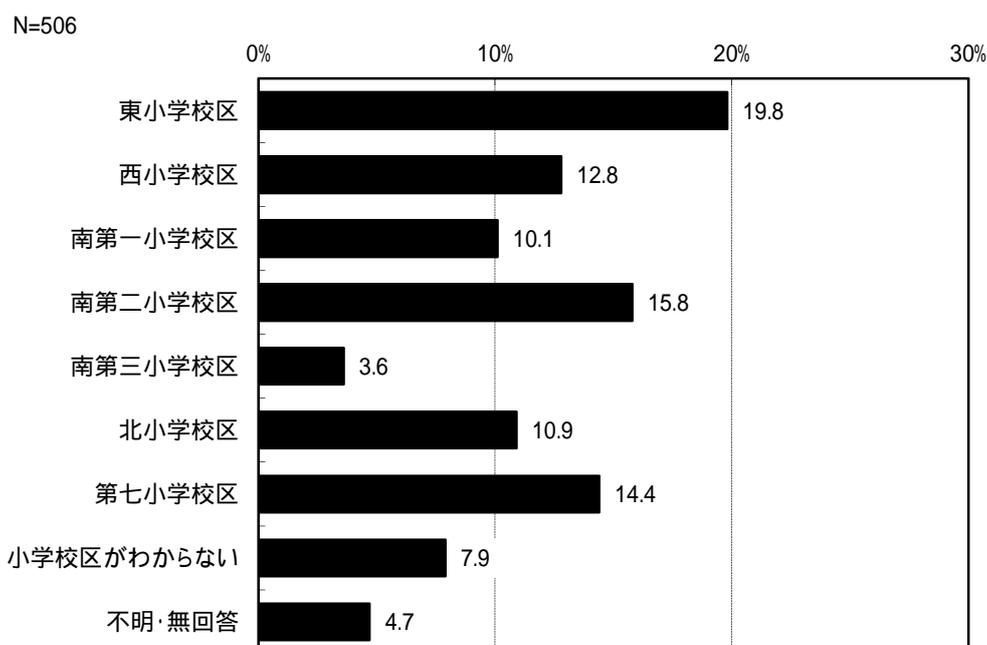


資料: 大阪狭山市 HP より(平成26年1月31日現在)

問3 住んでいる小学校区（単数回答）

住んでいる小学校区についてみると、「東小学校区」が19.8%と最も高く、次いで「南第二小学校区」が15.8%、「第七小学校区」が14.4%となっています。

小学校区別に年齢構成比をみると「南第一小学校区」「南第三小学校区」では70歳以上が最も高くなっており、それ以外の小学校区では60～69歳が最も高くなっています。



「小学校区がわからない」と答えられた方の町名の回答

内容	件数	内容	件数	内容	件数	内容	件数
半田	8	金剛	2	大野東	1	東池尻	1
狭山	5	東菜萁木	2	西山台	1	東野西	1
菜萁木	4	山本東	2	山本南	1	東野中	1
池尻自由丘	2	池尻中	1	池之原	1	東野	1

【小学校区別年齢構成】

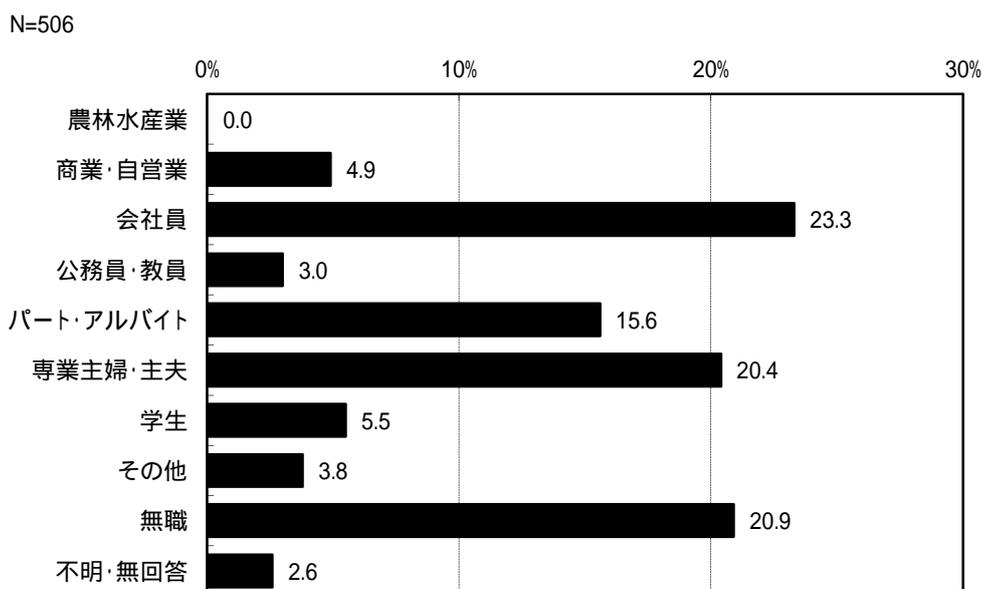
単位：%

小学校区別年齢構成		15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明・無回答
東小学校区	N= 100	5.0	8.0	18.0	19.0	11.0	24.0	13.0	2.0
西小学校区	N= 65	6.2	7.7	9.2	16.9	18.5	23.1	18.5	-
南第一小学校区	N= 51	-	7.8	3.9	7.8	23.5	13.7	43.1	-
南第二小学校区	N= 80	3.8	2.5	8.8	13.8	17.5	28.8	25.0	-
南第三小学校区	N= 18	5.6	11.1	16.7	11.1	5.6	16.7	33.3	-
北小学校区	N= 55	-	9.1	10.9	21.8	10.9	29.1	16.4	1.8
第七小学校区	N= 73	6.8	6.8	13.7	20.5	13.7	24.7	13.7	-

問4 職業（単数回答）

職業についてみると、「会社員」が23.3%と最も高くなっています。次いで「専業主婦・主夫」「無職」が20%台とほぼ並んでおり、続いて「パート・アルバイト」が15.6%となっています。

性別でみると、男性では「無職」が39.5%、女性では「専業主婦・主夫」が31.5%と、それぞれ最も高くなっています。さらに年齢別でみると、20～59歳では「会社員」、60歳以上では「無職」がそれぞれ最も高くなっています。



その他回答

内容	件数	内容	件数	内容	件数
看護師	2	司会	1	自営業の手伝い	1
介護職	2	音楽	1	家事手伝い	1
医師	1	非常勤	1	リタイヤー	1
日本語講師	1	契約社員	1		

【性別と年齢別】

単位：%

性別クロス		農林水産業	自営業・ 商業	会社員	教員・ 公務員	アルバイト・ パート	専業主婦・ 主夫	学生	その他	無職	不明・ 回答
男性	N= 167	-	8.4	31.7	6.0	4.2	-	6.6	3.0	39.5	0.6
女性	N= 327	-	3.4	19.6	1.5	22.0	31.5	5.2	4.3	12.2	0.3

年齢クロス		農林水産業	自営業・ 商業	会社員	教員・ 公務員	アルバイト・ パート	専業主婦・ 主夫	学生	その他	無職	不明・ 回答
15～19歳	N= 18	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
20～29歳	N= 37	-	-	40.5	2.7	10.8	13.5	24.3	2.7	5.4	-
30～39歳	N= 60	-	1.7	43.3	3.3	25.0	13.3	1.7	8.3	1.7	1.7
40～49歳	N= 84	-	2.4	45.2	4.8	27.4	14.3	-	4.8	-	1.2
50～59歳	N= 81	-	7.4	30.9	7.4	23.5	19.8	-	3.7	7.4	-
60～69歳	N= 111	-	7.2	11.7	1.8	12.6	29.7	-	4.5	32.4	-
70歳以上	N= 102	-	7.8	-	-	2.0	28.4	-	1.0	59.8	1.0

問5 家族構成（単数回答）

家族構成についてみると、「親と子の2世代世帯」が50.2%と最も高く半数を占めており、次いで「夫婦のみの世帯」が31.4%となっています。

年齢別でみると、15～59歳では「親と子の2世代世帯」、60歳以上では「夫婦のみの世帯」がそれぞれ最も高くなっています。

N=506



その他回答

内容	件数
姉妹のみ	2
親と子(親は施設入所)	1
兄と2人	1

【年齢別】

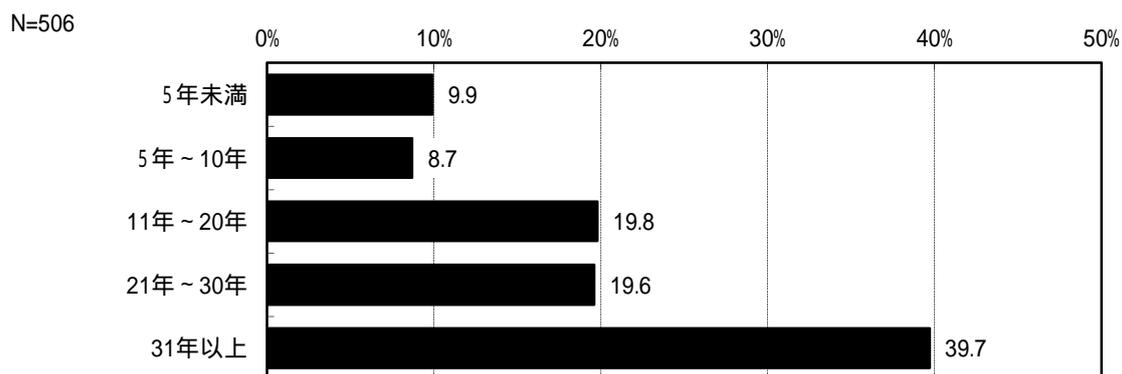
単位: %

年齢クロス		ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	2世代世帯	3世代世帯	その他	不明・無回答
15～19歳	N= 18	-	5.6	83.3	11.1	-	-
20～29歳	N= 37	2.7	8.1	83.8	5.4	-	-
30～39歳	N= 60	3.3	15.0	75.0	5.0	1.7	-
40～49歳	N= 84	3.6	14.3	71.4	6.0	3.6	1.2
50～59歳	N= 81	8.6	25.9	49.4	12.3	2.5	1.2
60～69歳	N= 111	11.7	49.5	33.3	4.5	0.9	-
70歳以上	N= 102	9.8	54.9	24.5	8.8	1.0	1.0

問6 大阪狭山市の居住年数（単数回答）

大阪狭山市の居住年数についてみると、「31年以上」が39.7%と最も高くなっています。次いで「11年～20年」「21年～30年」が19%台となっており、ほぼ並んでいます。

年齢別でみると、15～19歳・40～49歳では「11年～20年」、20～29歳では「11年～20年」「21年～30年」、30～39歳では「5年～10年」、50歳以上では「31年以上」がそれぞれ最も高くなっています。



【年齢別】

単位：%

年齢クロス		5年未満	5年～10年	11年～20年	21年～30年	31年以上	不明・無回答
15～19歳	N= 18	16.7	-	83.3	-	-	-
20～29歳	N= 37	24.3	5.4	35.1	35.1	-	-
30～39歳	N= 60	21.7	26.7	10.0	16.7	25.0	-
40～49歳	N= 84	8.3	17.9	33.3	14.3	26.2	-
50～59歳	N= 81	11.1	3.7	22.2	29.6	33.3	-
60～69歳	N= 111	3.6	3.6	10.8	22.5	59.5	-
70歳以上	N= 102	4.9	3.9	6.9	12.7	69.6	2.0

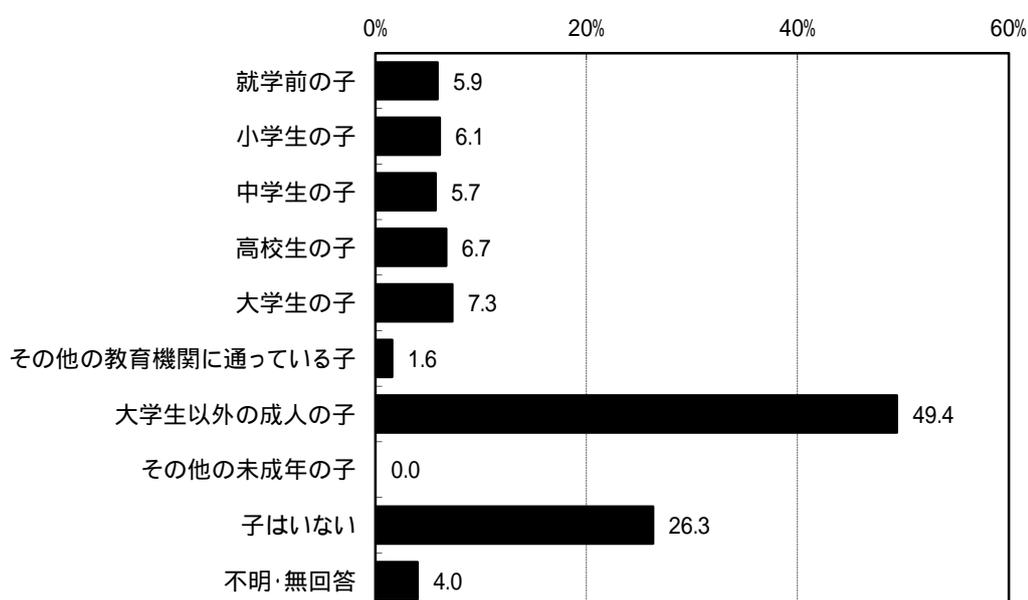
問7 子の有無（複数回答）

自立・独立、別居している場合も含まず

子の有無についてみると、「大学生以外の成人の子」が49.4%と最も高く、次いで「子はいない」が26.3%となっています。「就学前の子」から「大学生の子」までは5～7%台となっており、ほぼ並んでいます。

年齢別でみると、子育て世代である30～39歳は「就学前の子」が30.0%、40～49歳は「小学生の子」「中学生の子」「高校生の子」が2割台となっています。また、15～49歳では「子はいない」、50歳以上では「大学生以外の成人の子」がそれぞれ最も高く、7割から8割以上を占めています。

N=506



【年齢別】

単位：%

年齢クロス		就学前の子	小学生の子	中学生の子	高校生の子	大学生の子	その他の教育機関に通っている子	大学生以外の成人の子	その他の未成年の子	子はいない	不明・無回答
15～19歳	N= 18	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
20～29歳	N= 37	13.5	-	-	-	-	2.7	-	-	81.1	2.7
30～39歳	N= 60	30.0	18.3	3.3	1.7	-	-	-	-	51.7	-
40～49歳	N= 84	8.3	21.4	26.2	23.8	13.1	3.6	6.0	-	39.3	1.2
50～59歳	N= 81	-	1.2	6.2	12.3	27.2	3.7	71.6	-	7.4	-
60～69歳	N= 111	-	0.9	-	0.9	2.7	0.9	87.4	-	8.1	0.9
70歳以上	N= 102	-	-	-	-	-	-	88.2	-	4.9	6.9

2. 大阪狭山市の就学前教育・保育や学校教育について

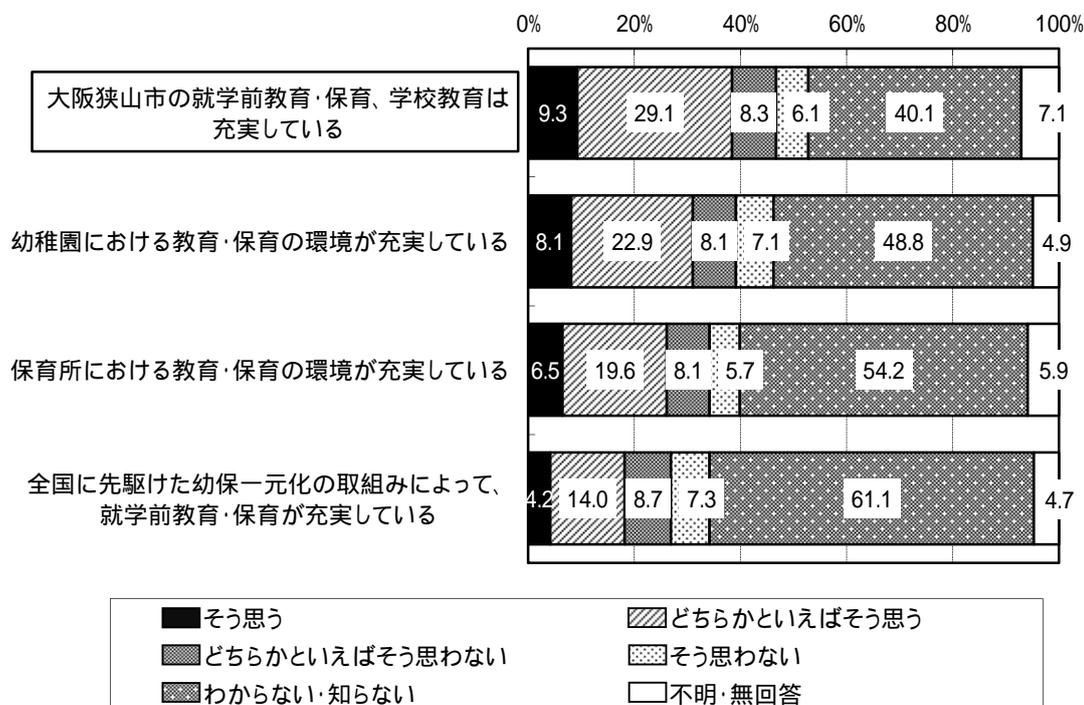
問8 大阪狭山市の就学前教育・保育、学校教育における現在の取組みについて、あなたはどのように感じますか（単数回答）

* 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合算 = [そう思う]
 「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合算 = [そう思わない]

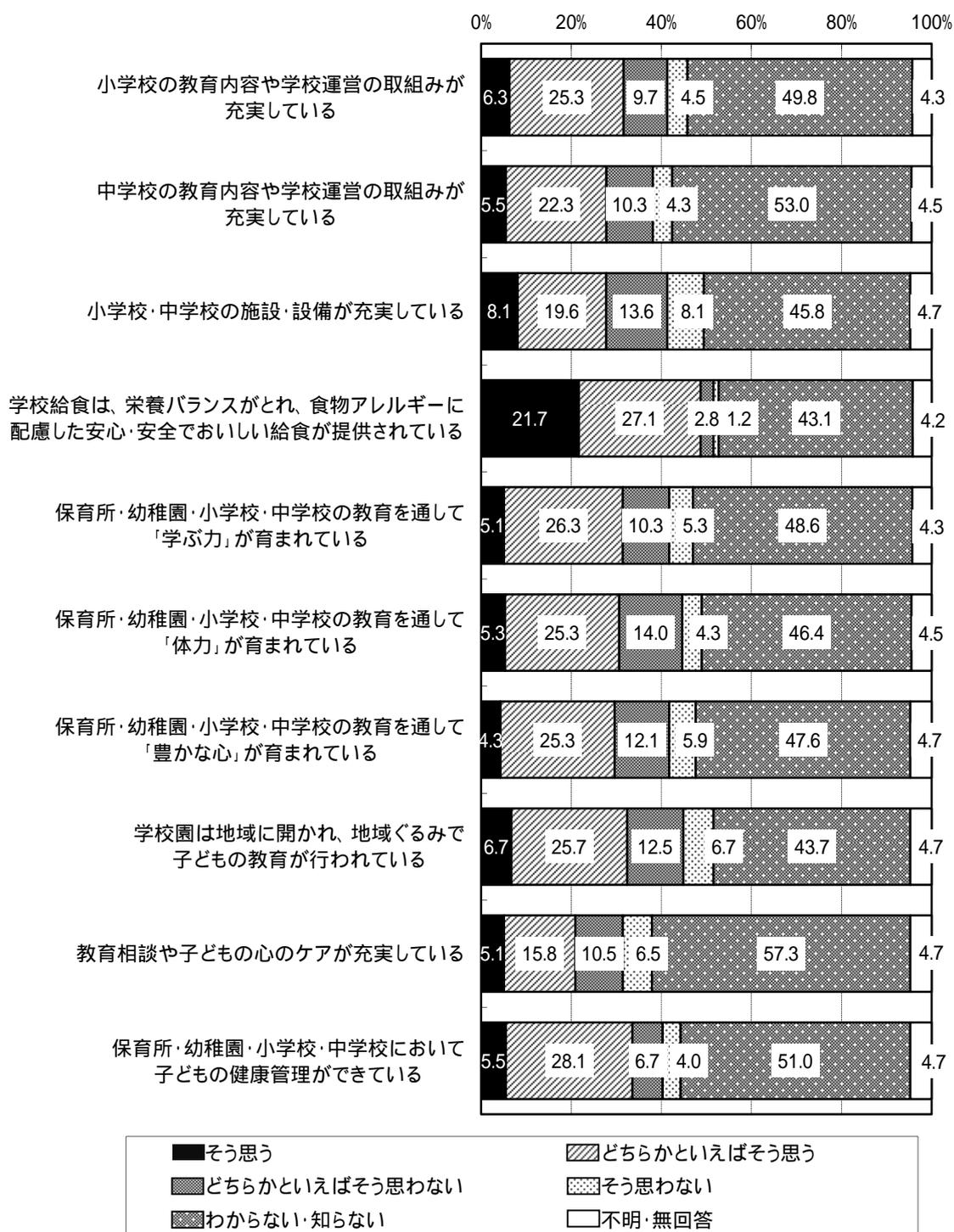
就学前教育・保育、学校教育における現在の取組みについて、[そう思う]では「学校給食は、栄養バランスがとれ、食物アレルギーに配慮した安心・安全でおいしい給食が提供されている」が48.8%と最も高く、次いで全体的評価としての「大阪狭山市の就学前教育・保育、学校教育は充実している」が38.4%となっています。続いて「学校園は地域に開かれ、地域ぐるみで子どもの教育が行われている」「保育所・幼稚園・小学校・中学校において子どもの健康管理ができていいる」が32～33%台となっており、ほぼ並んでいます。また、[そう思わない]では[そう思う]を上回る項目はなく、就学前教育・保育、学校教育における現在の取組みについては、肯定的な意見が多数であることが伺えます。

全体評価としては比較的高いものの、「わからない・知らない」の回答も高くなっており、具体的な取組みに対する回答は低くなっています。

〔就学前教育・保育、学校教育〕 N=506



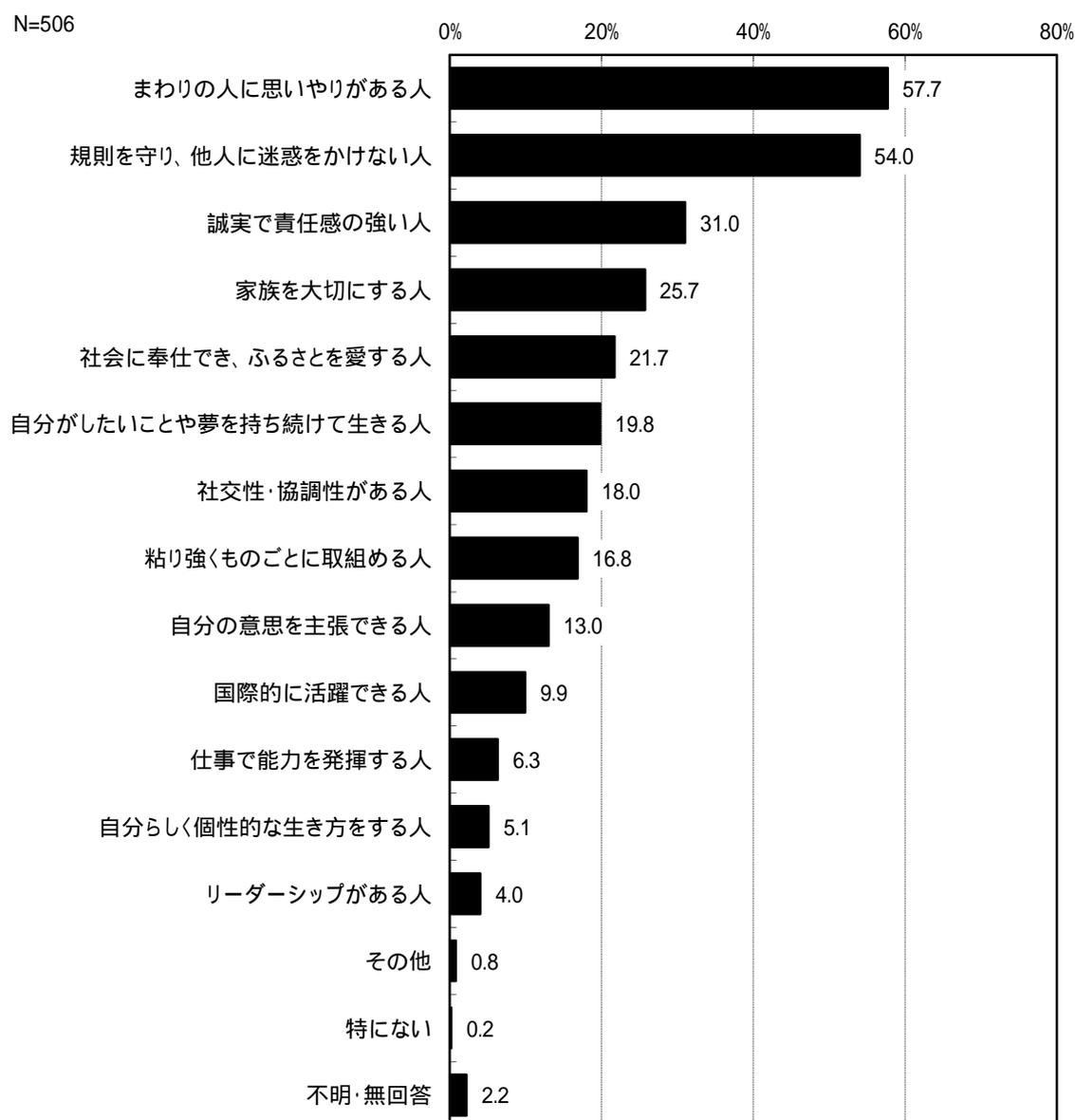
〔就学前教育・保育、学校教育〕 N=506



問9 大阪狭山市の子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいと思いますか（複数回答）

大阪狭山市の子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいかについてみると、「まわりの人に思いやりがある人」が57.7%と最も高く、次いで「規則を守り、他人に迷惑をかけない人」が54.0%、「誠実で責任感の強い人」が31.0%となっており、他者との関わりについての回答が多くなっています。

年齢別で見ると、15～59歳では「まわりの人に思いやりがある人」、60歳以上では「規則を守り、他人に迷惑をかけない人」がそれぞれ最も高く、6割から7割以上を占めています。



その他回答

内容	件数
どうしたらいいか常に考えることのできる人	1
あいさつのできる人	1

【年齢別】

単位：%

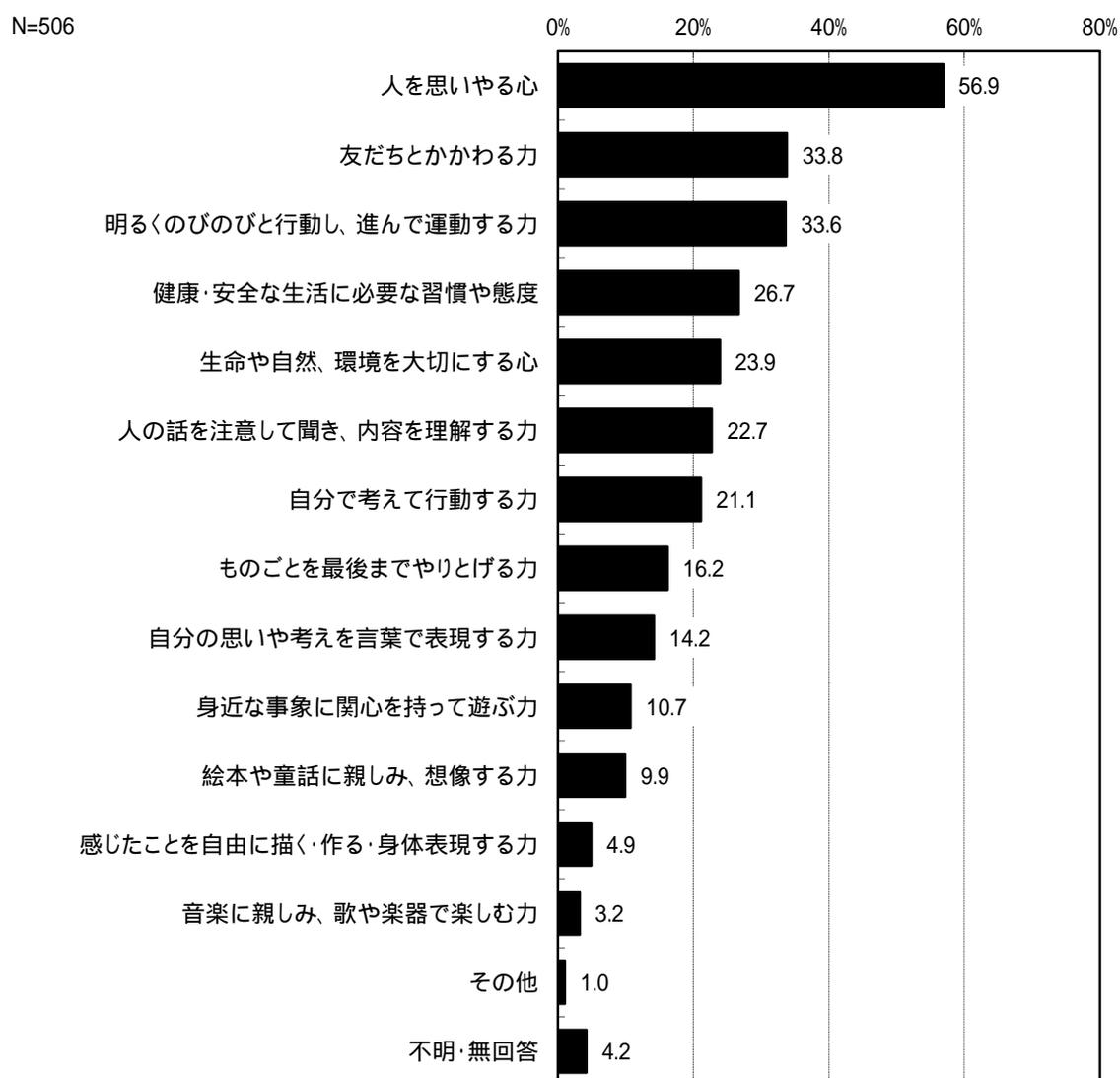
年齢クロス		規則を守り、他人に迷惑をかけない人	自分の意思を主張できる人	社交性・協調性がある人	まわりの人に思いやりがある人	粘り強くものごとに取り組める人	自分らしく個性的な生き方をする人	誠実で責任感の強い人	自分がしたいことや夢を持ち続けて生きる人
15～19歳	N= 18	61.1	16.7	27.8	72.2	11.1	5.6	-	16.7
20～29歳	N= 37	51.4	13.5	29.7	62.2	10.8	8.1	21.6	27.0
30～39歳	N= 60	43.3	18.3	25.0	60.0	20.0	11.7	25.0	11.7
40～49歳	N= 84	48.8	14.3	26.2	59.5	20.2	1.2	26.2	22.6
50～59歳	N= 81	46.9	12.3	13.6	65.4	18.5	3.7	32.1	32.1
60～69歳	N= 111	62.2	12.6	12.6	57.7	15.3	6.3	36.0	16.2
70歳以上	N= 102	64.7	10.8	11.8	50.0	15.7	3.9	43.1	16.7

年齢クロス		リーダーシップがある人	仕事で能力を発揮する人	社会に奉仕でき、ふるさとを愛する人	国際的に活躍できる人	家族を大切にしている人	その他	特にない	不明・無回答
15～19歳	N= 18	-	-	22.2	-	38.9	-	-	-
20～29歳	N= 37	2.7	5.4	16.2	5.4	27.0	-	2.7	-
30～39歳	N= 60	1.7	3.3	23.3	10.0	30.0	1.7	-	-
40～49歳	N= 84	3.6	4.8	22.6	11.9	26.2	1.2	-	-
50～59歳	N= 81	7.4	12.3	18.5	7.4	19.8	-	-	-
60～69歳	N= 111	5.4	6.3	21.6	10.8	30.6	-	-	0.9
70歳以上	N= 102	2.9	6.9	25.5	11.8	21.6	2.0	-	2.0

問 10 大阪狭山市の就学前教育・保育の中で、どのような能力や態度を身につけることが重要だと思いますか（複数回答）

就学前教育・保育の中で身につけることが重要だと思う能力や態度についてみると、「人を思いやる心」が 56.9%と最も高く、問9の将来なってもらいたい人物像と同様の傾向が伺えます。次いで「友だちとかかわる力」「明るくのびのびと行動し、進んで運動する力」が 33%台となっており、ほぼ並んでいます。

年齢別でみると、すべての年齢において「人を思いやる心」が最も高くなっており、20～29 歳では、7割を占めています。



その他回答

内 容	件数
特にない	2
社会の規律を理解する	1
あいさつ	1

【年齢別】

単位：%

年齢クロス		運動する力のびのびと行動し、進んで	健康・安全な生活に必要な習慣や態度	自分で考えて行動する力	友だちとかかわる力	人を思いやる心	ものごとを最後までやりとげる力	生命や自然、環境を大切にすること	身近な事象に関心を持って遊ぶ力
15～19歳	N= 18	33.3	22.2	16.7	22.2	44.4	11.1	16.7	16.7
20～29歳	N= 37	16.2	29.7	40.5	32.4	70.3	18.9	18.9	10.8
30～39歳	N= 60	38.3	30.0	21.7	38.3	56.7	16.7	18.3	16.7
40～49歳	N= 84	38.1	26.2	15.5	36.9	59.5	11.9	20.2	15.5
50～59歳	N= 81	29.6	22.2	28.4	42.0	55.6	16.0	22.2	12.3
60～69歳	N= 111	35.1	29.7	18.0	29.7	51.4	18.9	28.8	6.3
70歳以上	N= 102	36.3	24.5	17.6	28.4	58.8	18.6	29.4	5.9

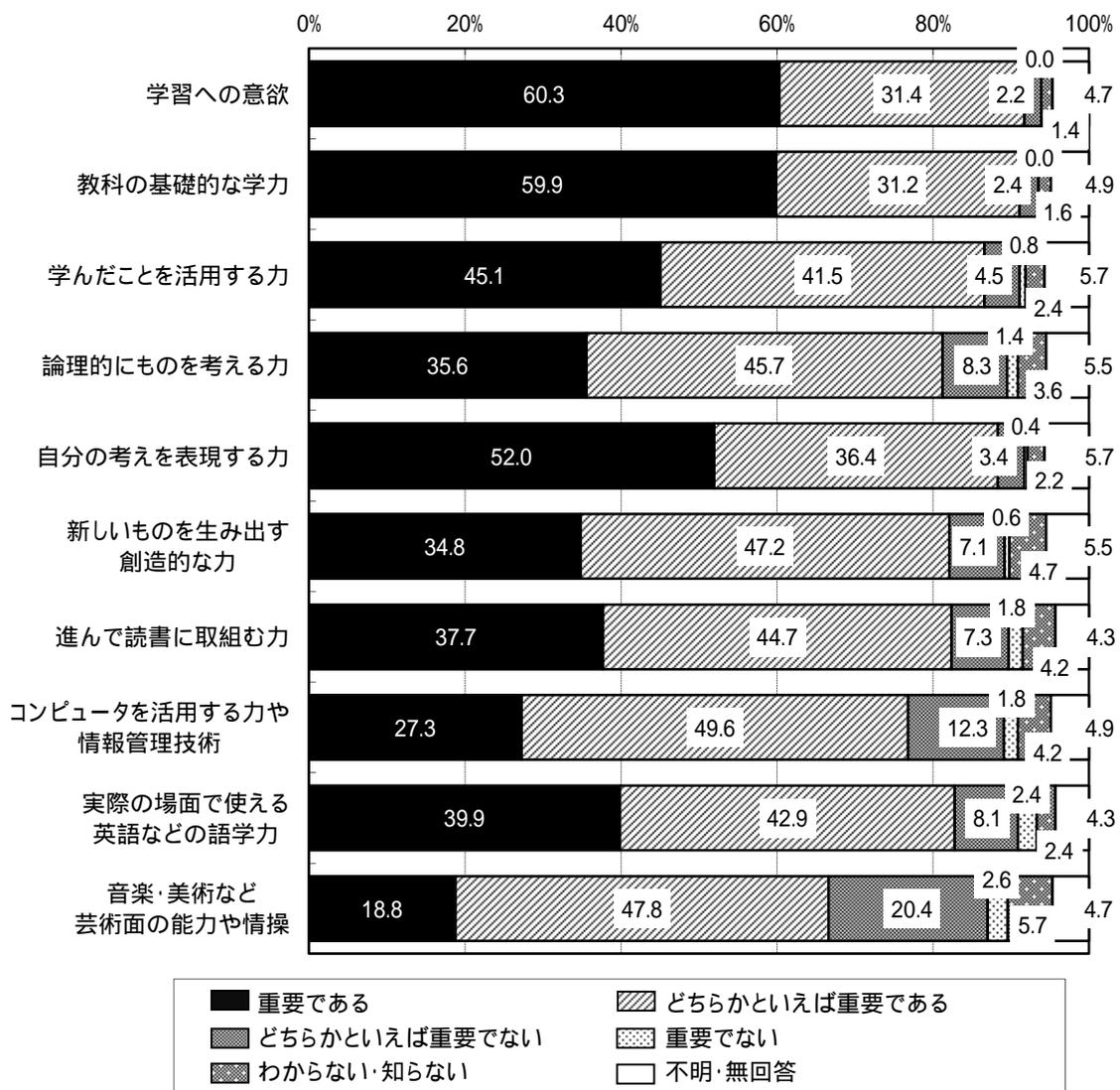
年齢クロス		自分の思いや考えを言葉で表現する力	人の話を注意して聞き、内容を理解する力	音楽に親しみ、歌や楽器で楽しむ力	感じたことを自由に描く・作る・身体表現する力	絵本や童話に親しみ、想像する力	その他	不明・無回答
15～19歳	N= 18	11.1	11.1	16.7	-	11.1	-	11.1
20～29歳	N= 37	10.8	24.3	2.7	2.7	8.1	2.7	-
30～39歳	N= 60	15.0	11.7	3.3	8.3	13.3	1.7	1.7
40～49歳	N= 84	10.7	23.8	4.8	7.1	8.3	-	3.6
50～59歳	N= 81	16.0	21.0	3.7	3.7	11.1	2.5	2.5
60～69歳	N= 111	18.0	23.4	0.9	5.4	9.9	0.9	6.3
70歳以上	N= 102	14.7	29.4	-	3.9	8.8	-	3.9

問 11 大阪狭山市の学校教育の中で、どのような能力や態度を身につけることが重要だと思いますか（単数回答）

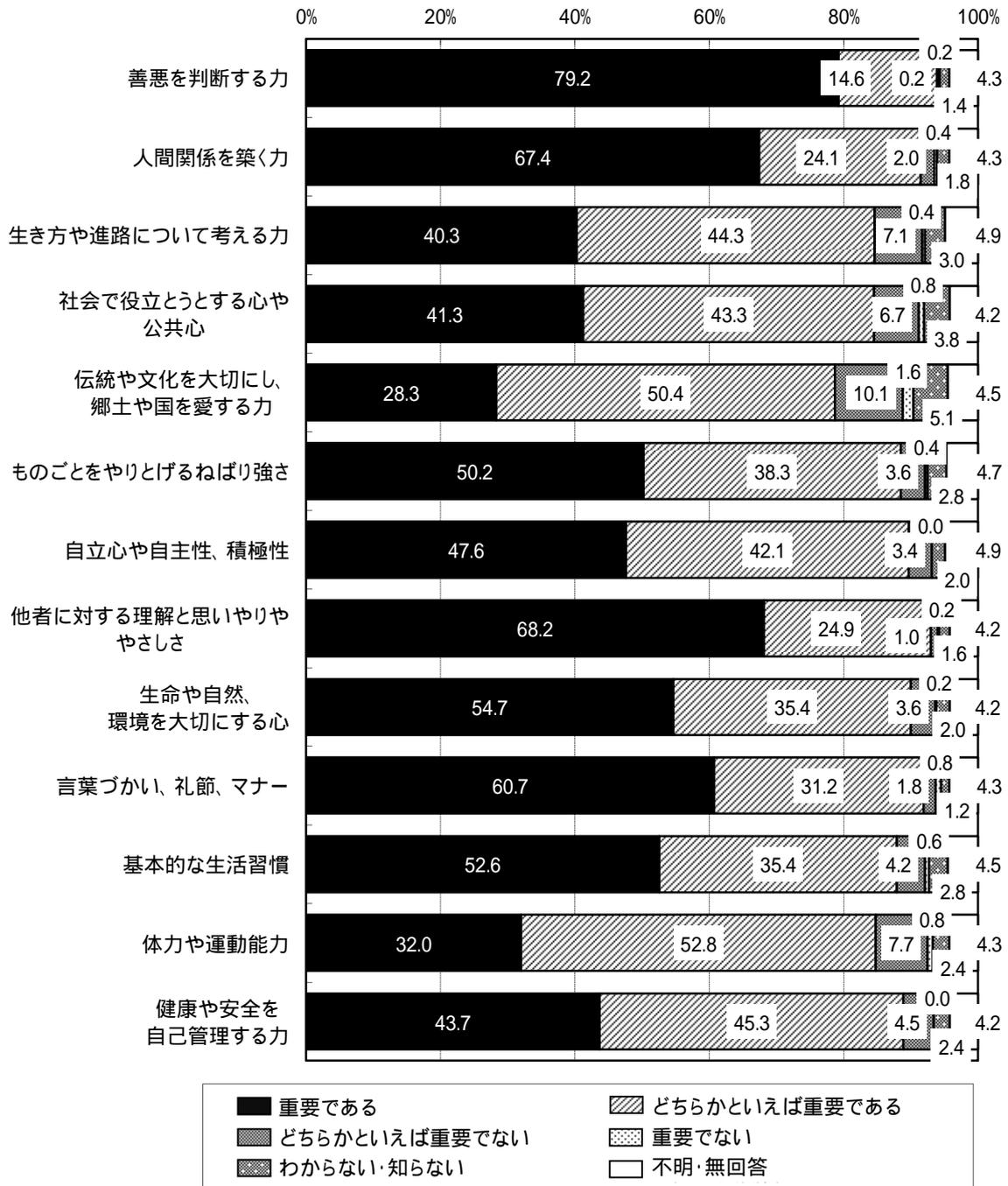
* 「重要である」と「どちらかといえば重要である」の合算 = [重要である]
 「重要でない」と「どちらかといえば重要でない」の合算 = [重要でない]

学校教育の中で身につけることが重要だと思う能力や態度について、[重要である]ではすべての項目において6割後半から9割台と高い割合になっており、その中でも「善悪を判断する力」が93.8%と最も高く、次いで「他者に対する理解と思いやりやさしさ」が93.1%、「言葉づかい、礼節、マナー」が91.9%となっています。

〔学校教育の中で身につけることが重要な能力や態度〕 N=506



〔学校教育の中で身につけることが重要な能力や態度〕 N=506



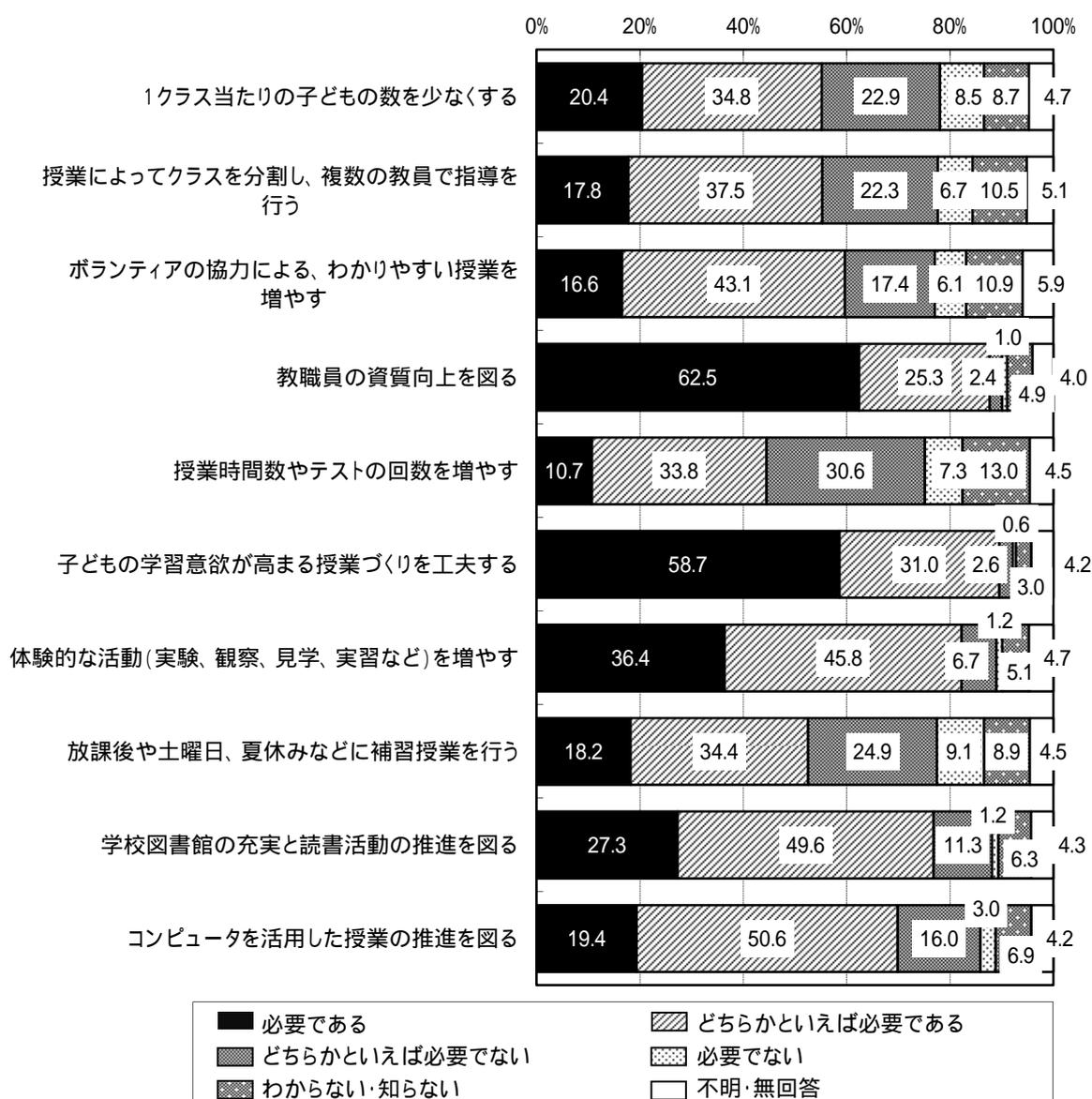
問 12 学校教育の中で力を入れて行う必要がある教育施策や教育事業（単数回答）

* 「必要である」と「どちらかといえば必要である」の合算 = [必要である]

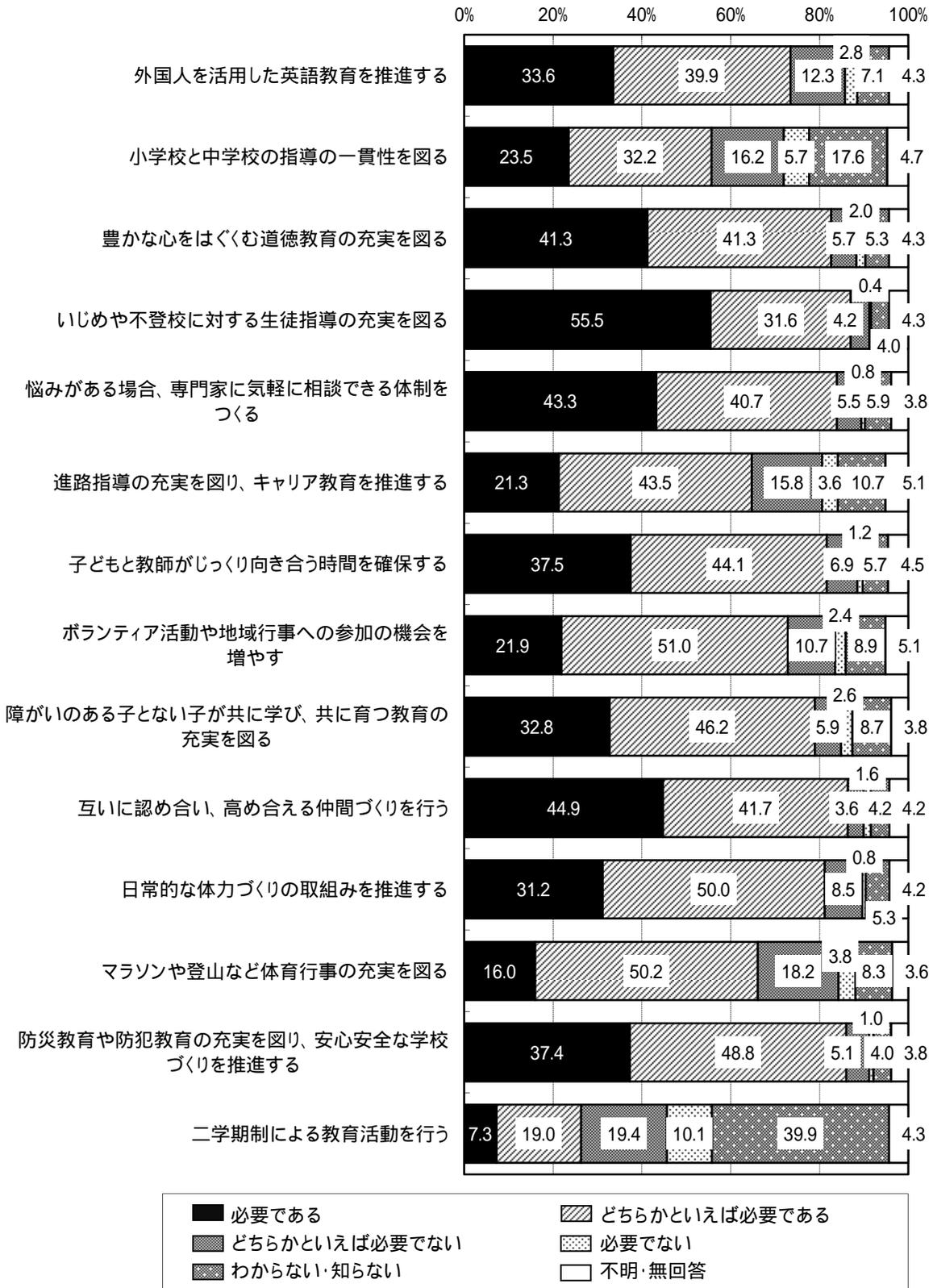
「必要でない」と「どちらかといえば必要でない」の合算 = [必要でない]

学校教育の中で力を入れて行う必要がある施策・事業について、[必要である]では「子どもの学習意欲が高まる授業づくりを工夫する」が 89.7%と最も高く、次いで「教職員の資質向上を図る」が 87.8%、「いじめや不登校に対する生徒指導の充実を図る」が 87.1%となっています。また、[必要でない]では「二学期制による教育活動を行う」が 29.5%と、[必要である]を 3.2 ポイント上回っています。

〔学校教育の中で力を入れて行う必要がある施策・事業〕 N=506



〔学校教育の中で力を入れて行う必要がある施策・事業〕 N=506



問 13 いじめについて、特に大切だと考えることは何ですか（複数回答）

いじめについて、特に大切だと考えることについてみると、「保護者が自分の子どもに対して、いじめをしてはいけないことをしっかりと教える」が 40.9%と最も高くなっています。次いで「学校全体で、日頃から子どもたちの様子を注意深く観察する」「保護者が、子どもとの日常会話を大切に、いじめがないか把握する」が 35～36%台とほぼ並んでおり、続いて「学校で、いじめをしてはいけないことをしっかりと教える」が 32.8%となっています。

年齢別でみると、15～19歳・30～39歳では「学校全体で、日頃から子どもたちの様子を注意深く観察する」、20～29歳・40～49歳・60～69歳では「保護者が自分の子どもに対して、いじめをしてはいけないことをしっかりと教える」、50～59歳では「保護者が、子どもとの日常会話を大切に、いじめがないか把握する」、70歳以上では「学校で、いじめをしてはいけないことをしっかりと教える」が最も高くなっています。

N=506



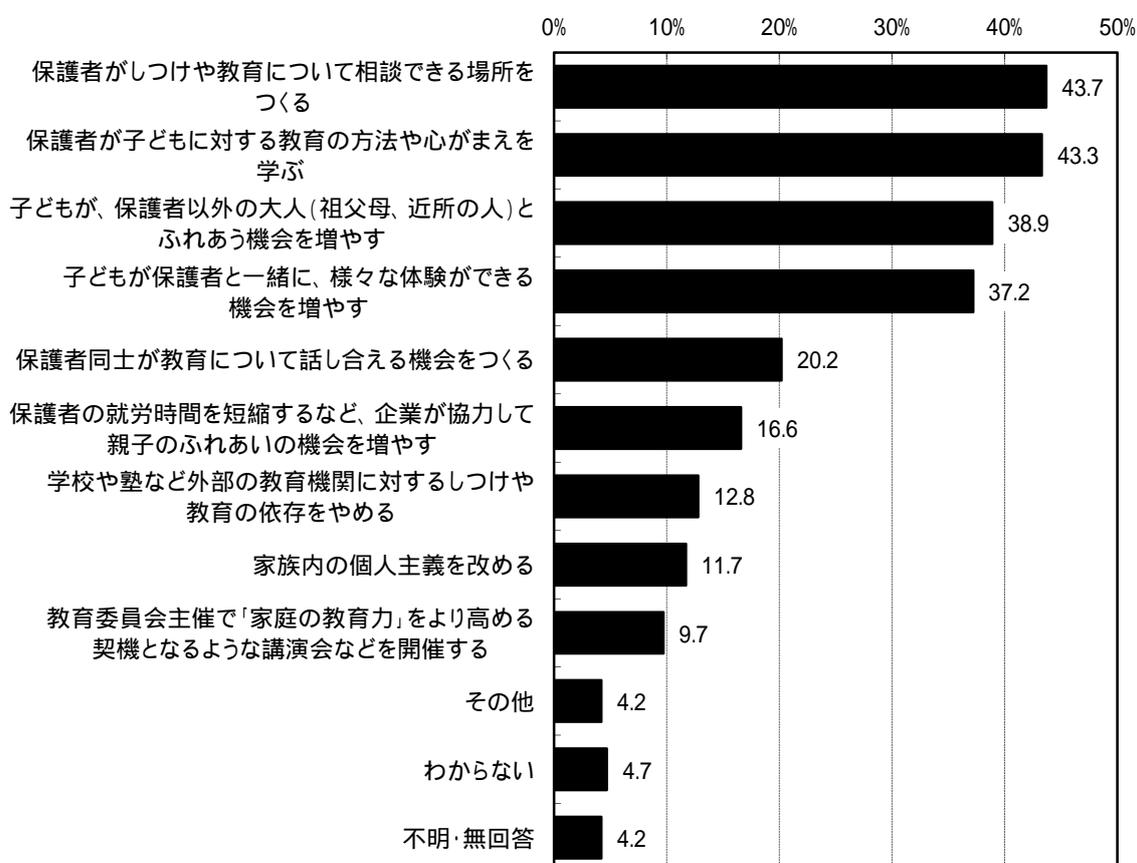
3. 家庭教育・地域教育について

問 14 「家庭の教育力」をより高めていくために、どのような取組みが必要だと思いますか（複数回答）

「家庭の教育力」をより高めていくために必要な取組みについてみると、「保護者がしつけや教育について相談できる場所をつくる」「保護者が子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ」が43%台と最も高くなっています。次いで「子どもが、保護者以外の大人（祖父母、近所の人）とふれあう機会を増やす」「子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」が37～38%台となっており、ほぼ並んでいます。

年齢別でみると、15～19歳では「子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」、20～29歳・40～49歳では「子どもが、保護者以外の大人（祖父母、近所の人）とふれあう機会を増やす」、30～39歳・50～59歳では「保護者がしつけや教育について相談できる場所をつくる」、60歳以上では「保護者が子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ」が最も高くなっています。若年層では子どものふれあいや体験の機会づくり、高齢層では保護者の学びや相談の場づくりがそれぞれ高くなっています。

N=506



その他回答

内 容	件数	内 容	件数
家庭でのコミュニケーションを増やす	3	自然に親の背中を見せればいい	1
親への教育を充実させる	3	もっと自分の子に責任を持たせる	1
保護者の経済力やゆとりの向上、行政での支援も必要	3	他人に頼る心が子どもの行動に隙を与えと思う	1
道徳的・倫理的な問題に、親子で取組める場を学校でつくる	2	子供のいない老人への教育	1
学校行事や講演会に来ない大人への対応を考える	2	教育者のレベルを上げることが最も重要だと思う	1
家族以外の大人と子どもが話し合ったり接する機会をつくる	2		

【年齢別】

単位：%

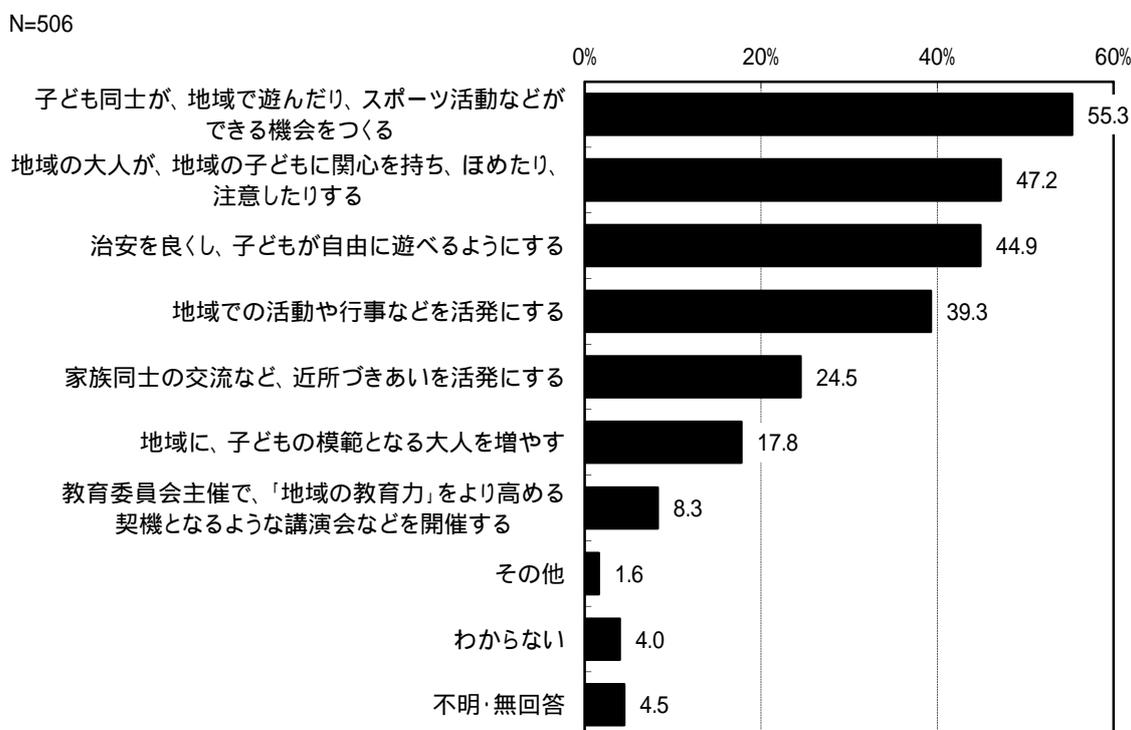
年齢クロス		契機となるような講演会	教育委員会主催で「家庭の教育の方法や心がまえる	保護者が子どもに対する	話し合える機会をつくる	保護者が相談できる場所を	子どもが、保護者以外の	子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす
15～19歳	N= 18	-	50.0	5.6	44.4	27.8	61.1	
20～29歳	N= 37	5.4	24.3	24.3	45.9	51.4	32.4	
30～39歳	N= 60	11.7	35.0	20.0	48.3	38.3	36.7	
40～49歳	N= 84	7.1	39.3	15.5	33.3	42.9	29.8	
50～59歳	N= 81	11.1	33.3	22.2	43.2	40.7	38.3	
60～69歳	N= 111	8.1	51.4	18.9	47.7	35.1	38.7	
70歳以上	N= 102	14.7	54.9	24.5	42.2	39.2	36.3	

年齢クロス		親子のふれあいの機会を増やす	保護者の就業時間が短縮される	学校や塾など外部の教育機関の依存をやめる	家族内の個人主義を改める	その他	わからない	不明・無回答
15～19歳	N= 18	16.7	16.7	-	-	5.6	-	
20～29歳	N= 37	18.9	13.5	5.4	13.5	5.4	5.4	
30～39歳	N= 60	31.7	6.7	5.0	3.3	6.7	3.3	
40～49歳	N= 84	19.0	14.3	7.1	3.6	3.6	6.0	
50～59歳	N= 81	14.8	11.1	17.3	3.7	1.2	7.4	
60～69歳	N= 111	11.7	17.1	15.3	4.5	5.4	1.8	
70歳以上	N= 102	11.8	10.8	16.7	2.0	5.9	2.9	

問 15 「地域の教育力」をより高めていくために、どのような取組みが必要だと思いますか（複数回答）

「地域の教育力」をより高めていくために必要な取組みについてみると、「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができる機会をつくる」が 55.3%と最も高くなっています。次いで「地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする」「治安を良くし、子どもが自由に遊べるようにする」が 44～47%台とほぼ並んでおり、続いて「地域での活動や行事などを活発にする」が 39.3%となっています。

年齢別でみると、15～29 歳・40～49 歳・60 歳以上では「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができる機会をつくる」、30～39 歳では「地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする」、50～59 歳では「地域での活動や行事などを活発にする」が最も高くなっています。



その他回答

内 容	件数
地域の大人(特に高齢者)と学校の連携を深める	1
子育てを終えた大人による、あたたかい見守り	1
大人が子ども達のことを話し合う機会を増やす	1
サヤカホールや自治会館、公民館を一般にも使いやすくする	1
サヤカホールなどに、コミュニケーション力に関する講師を呼ぶ	1

【年齢別】

単位：%

年齢クロス		教育委員会主催で、「地域の教育力をより高める契機となるような講演会などを開催する	地域に、子どもの模範となる大人を増やす	子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができる機会をつくる	地域の大人が、地域の子どもの関心をもち、ほめたり、注意したりする	家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする	地域での活動や行事などを活発にする	治安を良くし、子どもが自由に遊べるようにする
15～19歳	N= 18	5.6	16.7	61.1	33.3	33.3	38.9	38.9
20～29歳	N= 37	5.4	29.7	59.5	43.2	27.0	40.5	40.5
30～39歳	N= 60	8.3	16.7	51.7	58.3	21.7	48.3	48.3
40～49歳	N= 84	4.8	19.0	50.0	47.6	9.5	29.8	47.6
50～59歳	N= 81	7.4	13.6	46.9	42.0	27.2	49.4	35.8
60～69歳	N= 111	12.6	19.8	63.1	43.2	26.1	36.0	47.7
70歳以上	N= 102	9.8	15.7	54.9	52.9	34.3	33.3	46.1

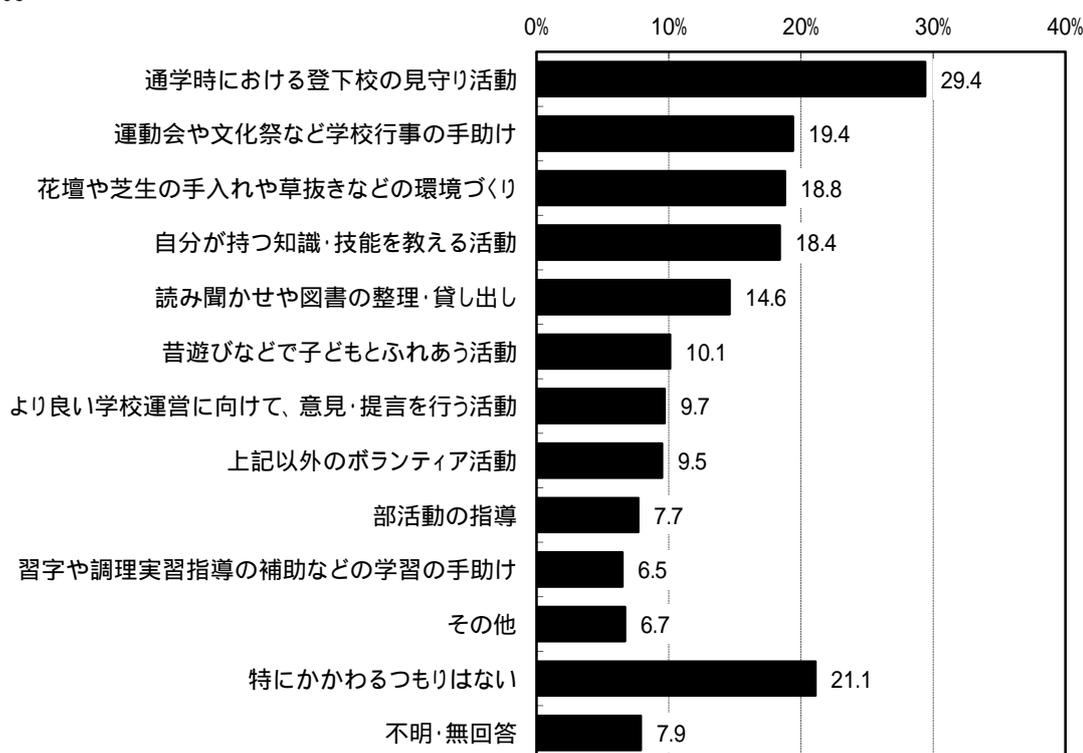
年齢クロス		その他	わからない	不明・無回答
15～19歳	N= 18	-	5.6	-
20～29歳	N= 37	2.7	2.7	5.4
30～39歳	N= 60	-	1.7	3.3
40～49歳	N= 84	1.2	6.0	6.0
50～59歳	N= 81	3.7	2.5	7.4
60～69歳	N= 111	1.8	4.5	1.8
70歳以上	N= 102	-	4.9	4.9

問 16 今後、地域の学校に対してどのような活動でご協力いただけますか
(複数回答)

今後、地域の学校に対してどのような活動で協力できるかについてみると、「通学時における登下校の見守り活動」が29.4%と最も高く、次いで「特にかかわるつもりはない」が21.1%となっています。続いて「運動会や文化祭など学校行事の手助け」「花壇や芝生の手入れや草抜きなどの環境づくり」「自分が持つ知識・技能を教える活動」が18~19%台となっており、ほぼ並んでいます。「特にかかわるつもりはない」「不明・無回答」を除くと、約7割の人が何らかの形で学校に協力したいと考えています。

年齢別にみると、15~19歳では「運動会や文化祭など学校行事の手助け」、20~39歳では「自分が持つ知識・技能を教える活動」、40~49歳・60歳以上では「通学時における登下校の見守り活動」が最も高く、50~59歳では「通学時における登下校の見守り活動」「読み聞かせや図書の整理・貸し出し」が最も高くなっています。

N=506



その他回答

内 容	件数	内 容	件数
高齢により参加できない	13	運動が苦手だったり、嫌な子が楽しめるようにする	1
できることがあれば協力したい	3	地産産業・狭山の特産品を小中学生に教える	1
仕事で多忙である	3	音楽活動	1
どのような行事があるのか状況がわからない	2	悩みの相談相手になれば良いです	1
教師・関係者の努力が必要ではないか	2	世代変化についていけない	1
保護者への子育て研究会・教師へのスキルアップ研修など	1	やってもらって当たり前という話も聞くので、わからない	1

【年齢別】

単位：%

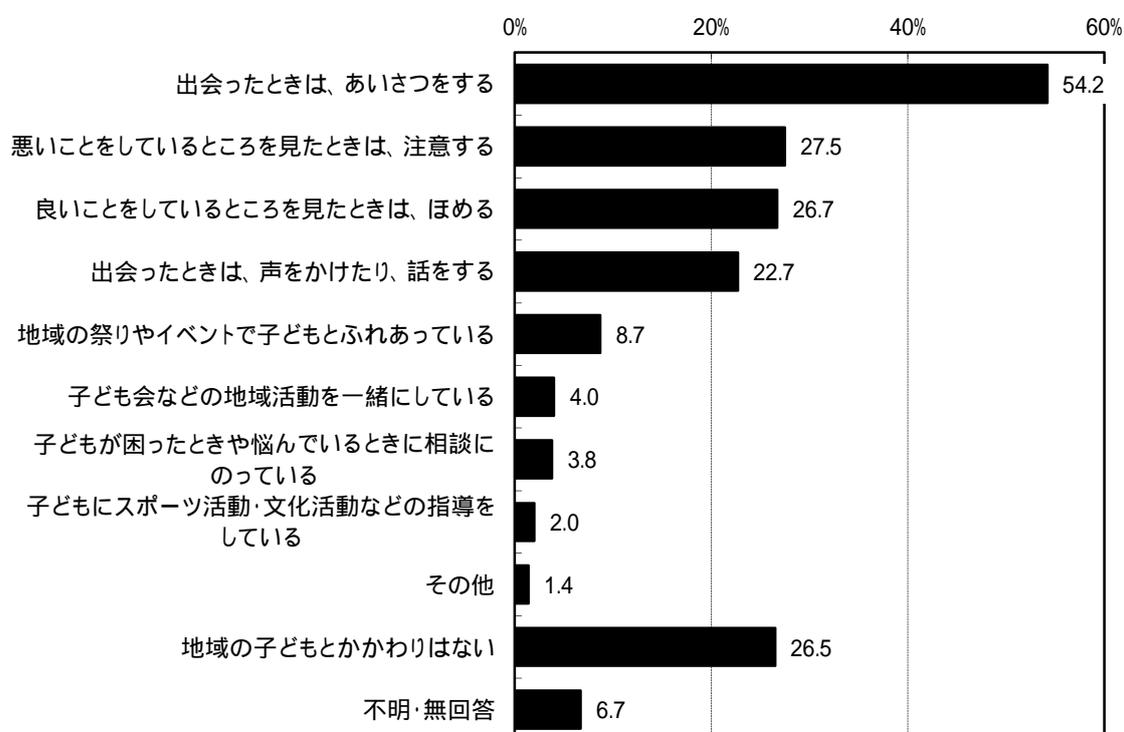
年齢クロス		自分が持つ知識・技能を教える活動	通学時における登下校の見守り活動	部活動の指導	花壇や芝生の手入れや草抜きなどの環境づくり	読み聞かせや図書の整理・貸し出し	運動会や文化祭など学校行事の手助け	学習や調理実習指導の補助などの学習の手助け	昔遊びなどで子どもとふれあう活動	より良い学校運営に向けて、意見・提言を行う活動	上記以外のボランティア活動	その他	特にかかわるつもりはない	不明・無回答
15～19歳	N= 18	22.2	16.7	16.7	5.6	16.7	33.3	11.1	11.1	16.7	5.6	-	22.2	5.6
20～29歳	N= 37	40.5	18.9	21.6	8.1	16.2	21.6	5.4	2.7	8.1	13.5	5.4	18.9	5.4
30～39歳	N= 60	23.3	21.7	8.3	21.7	16.7	16.7	8.3	5.0	6.7	5.0	6.7	18.3	5.0
40～49歳	N= 84	21.4	26.2	2.4	19.0	16.7	25.0	6.0	4.8	13.1	10.7	4.8	21.4	7.1
50～59歳	N= 81	18.5	21.0	6.2	13.6	21.0	13.6	7.4	11.1	8.6	9.9	8.6	18.5	11.1
60～69歳	N= 111	11.7	32.4	9.0	22.5	10.8	20.7	6.3	13.5	6.3	9.0	5.4	25.2	5.4
70歳以上	N= 102	12.7	45.1	4.9	24.5	8.8	16.7	4.9	15.7	10.8	11.8	8.8	20.6	11.8

問 17 ふだん、地域の子どもとどのように接していますか（複数回答）

ふだん、地域の子どもとどのように接しているかについてみると、「出会ったときは、あいさつをする」が 54.2%と最も高くなっています。次いで「悪いことをしているところを見たときは、注意する」「良いことをしているところを見たときは、ほめる」「地域の子どもとかかわりはない」が 26～27%台とほぼ並んでおり、続いて「出会ったときは、声をかけたり、話をする」が 22.7%となっています。

年齢別でみると、15～19 歳では「出会ったときは、あいさつをする」「地域の子どもとかかわりはない」、20～29 歳では「地域の子どもとかかわりはない」、30 歳以上では「出会ったときは、あいさつをする」が最も高くなっています。

N=506



その他回答

内 容	件数
関わる機会がない	5
子どもに「知らない人とは関わらない」のような教育が行きわたっているところもある	1
あいさつをしない子・悪い事をしてあやまらない子どもは多い	1
子どもが少ない	1

【年齢別】

単位：%

年齢クロス		出会ったときは、あいさつをする	出会ったときは、声をかけたり、話をする	見たときは、注意する	悪いことをしているところを見たときは、ほめる	良いことをしているところを見たときは、ほめる	子どもが困ったときや悩んでいるときに相談のつてている	子ども会などの地域活動と一緒にしている	子どもの指導をしている	子どもにスポーツ活動・文化活動などの指導をしている	地域の祭りやイベントで子どもとふれあっている	その他	地域の子どものかわりはない	不明・無回答
15～19歳	N= 18	38.9	16.7	16.7	11.1	-	5.6	5.6	5.6	5.6	-	38.9	5.6	
20～29歳	N= 37	27.0	10.8	8.1	8.1	2.7	-	2.7	-	-	-	45.9	13.5	
30～39歳	N= 60	55.0	20.0	18.3	21.7	1.7	6.7	1.7	5.0	3.3	31.7	6.7		
40～49歳	N= 84	60.7	19.0	21.4	16.7	2.4	-	2.4	4.8	1.2	25.0	6.0		
50～59歳	N= 81	53.1	12.3	22.2	21.0	4.9	2.5	1.2	8.6	1.2	28.4	7.4		
60～69歳	N= 111	54.1	25.2	30.6	33.3	2.7	4.5	3.6	9.0	0.9	30.6	3.6		
70歳以上	N= 102	60.8	38.2	46.1	43.1	6.9	6.9	-	16.7	2.0	10.8	7.8		

4. 大阪狭山市の生涯学習・文化・スポーツなどについて

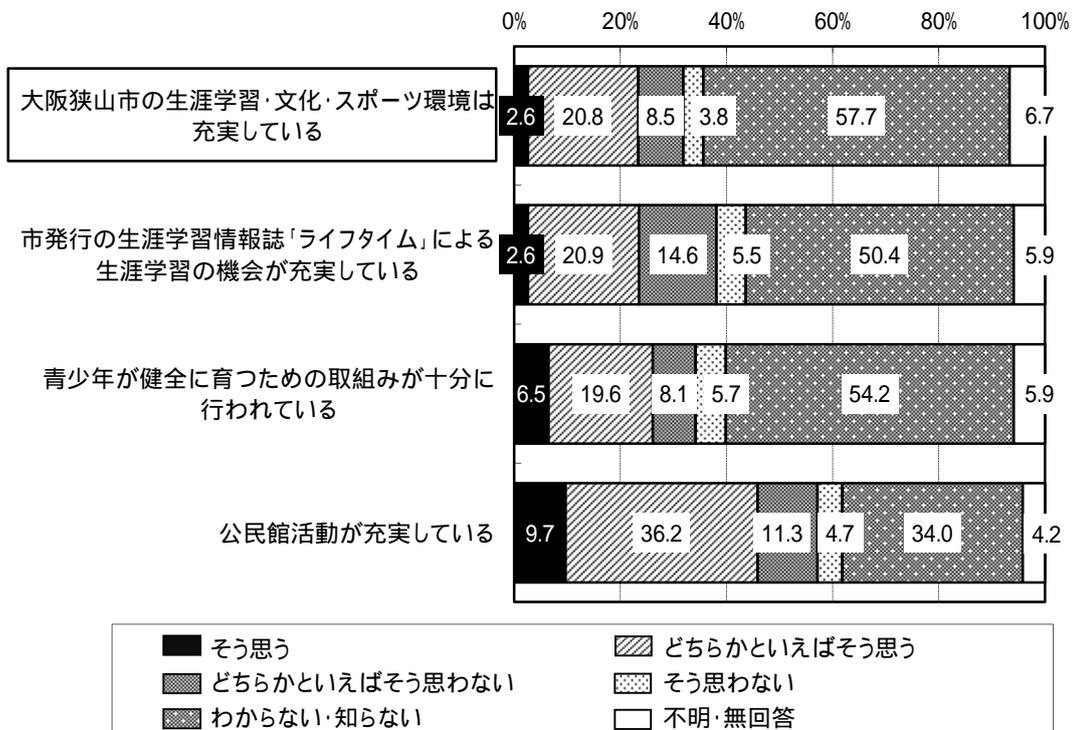
問 18 大阪狭山市の生涯学習・文化・スポーツなどにおける現在の取組みについて、あなたはどのように感じますか（単数回答）

* 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合算 = [そう思う]

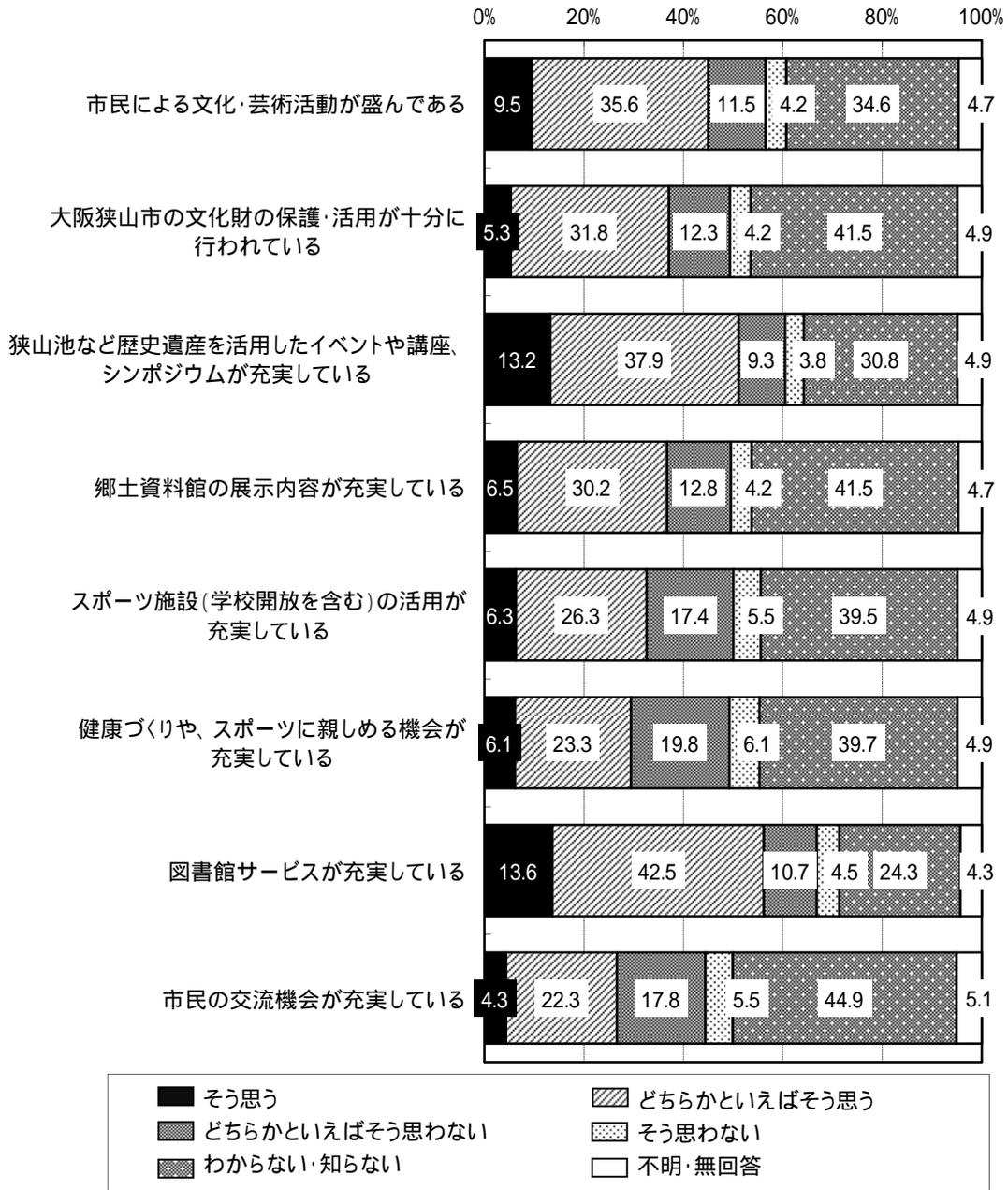
「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合算 = [そう思わない]

生涯学習・文化・スポーツなどにおける現在の取組みについて、[そう思う]では「図書館サービスが充実している」が56.1%と最も高く、次いで「狭山池など歴史遺産を活用したイベントや講座、シンポジウムが充実している」が51.1%となっています。続いて「公民館活動が充実している」「市民による文化・芸術活動が盛んである」が45%台となっており、ほぼ並んでいます。また、[そう思わない]では[そう思う]を上回る項目はなく、生涯学習・文化・スポーツなどにおける現在の取組みについては、肯定的な意見が多数であることが伺えます。

〔生涯学習・文化・スポーツなど〕 N=506



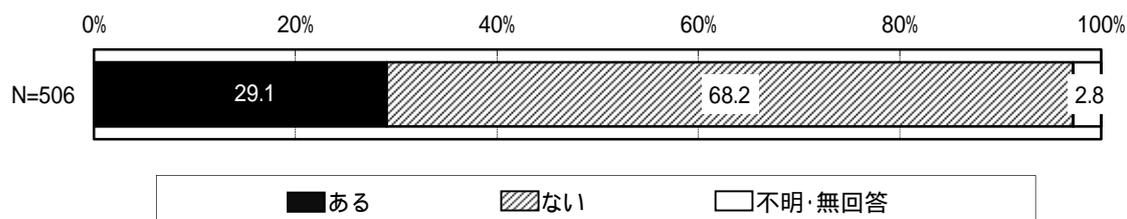
〔生涯学習・文化・スポーツなど〕 N=506



問 19 この1年くらいの間に、自分から進んで生涯学習・文化・スポーツなどの活動をしたことがありますか（単数回答）

この1年くらいの間に、自分から進んで生涯学習・文化・スポーツなどの活動をしたことがあるかについてみると、「ある」が29.1%、「ない」が68.2%となっています。

年齢別でみると、「ない」が15～29歳では6割半ば、30～69歳では7割以上、70歳以上では5割半ばとなっています。



【年齢別】

単位：%

年齢クロス		ある	ない	不明・無回答
15～19歳	N= 18	27.8	66.7	5.6
20～29歳	N= 37	27.0	67.6	5.4
30～39歳	N= 60	28.3	71.7	-
40～49歳	N= 84	26.2	73.8	-
50～59歳	N= 81	24.7	72.8	2.5
60～69歳	N= 111	22.5	73.9	3.6
70歳以上	N= 102	42.2	54.9	2.9

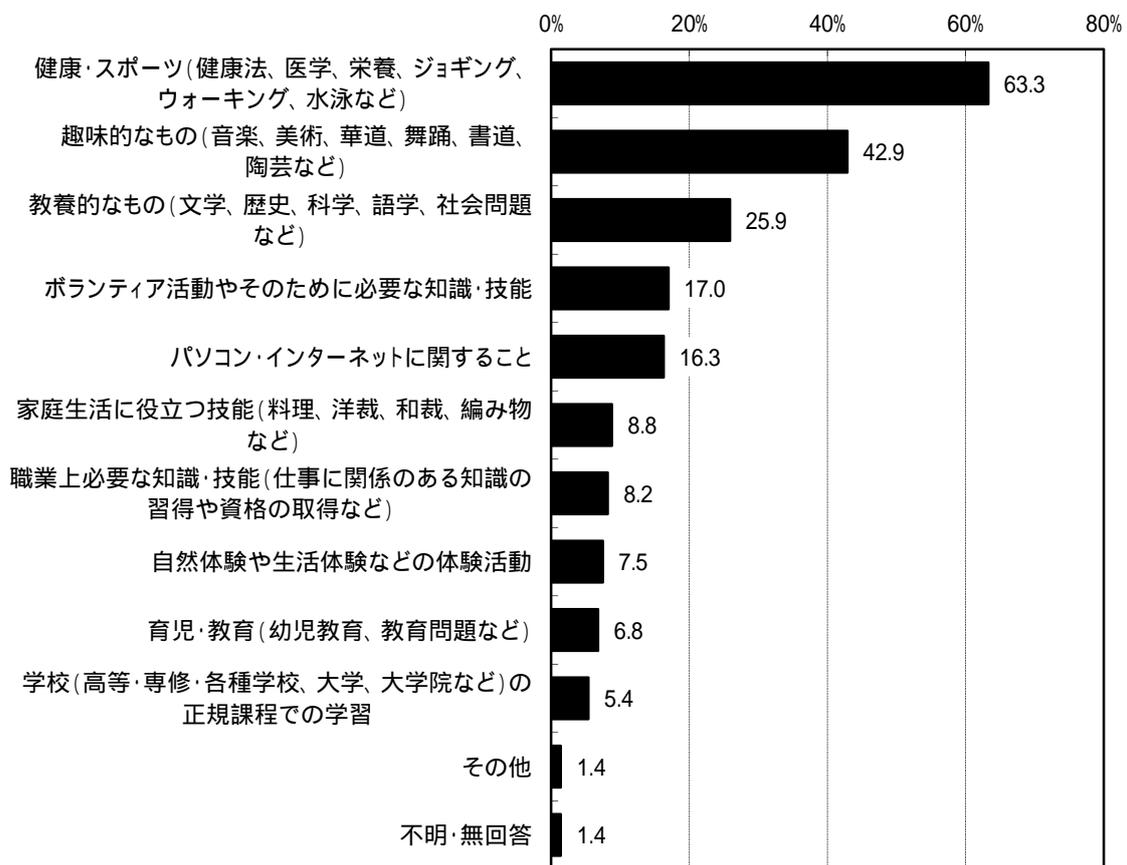
〔問 19「ある」の回答者〕

問 19 - (1) どのような生涯学習・文化・スポーツなどの活動をしましたか
(複数回答)

生涯学習・文化・スポーツなどの活動内容についてみると、「健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、ウォーキング、水泳など)」が63.3%と最も高く、次いで「趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など)」が42.9%、「教養的なもの(文学、歴史、科学、語学、社会問題など)」が25.9%となっています。

年齢別でみると、15～19歳・30歳以上では「健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、ウォーキング、水泳など)」、20～29歳では「趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など)」「健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、ウォーキング、水泳など)」がそれぞれ最も高くなっています。

N=147



その他回答

内 容	件数
大学の公開講座・各種講演会	1
マーじゃん	1

【年齢別】

単位：%

年齢クロス		趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など）	教育的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）	健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、ウォーキング、水泳など）	家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）	育児・教育（幼児教育、教育問題など）	職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）
15～19歳	N= 5	60.0	40.0	100.0	40.0	-	-
20～29歳	N= 10	50.0	40.0	50.0	10.0	-	20.0
30～39歳	N= 17	11.8	17.6	76.5	11.8	23.5	17.6
40～49歳	N= 22	27.3	36.4	68.2	4.5	18.2	18.2
50～59歳	N= 20	40.0	15.0	70.0	-	5.0	15.0
60～69歳	N= 25	56.0	24.0	60.0	8.0	-	-
70歳以上	N= 43	48.8	27.9	55.8	11.6	2.3	-

年齢クロス		パソコン・インターネットに関すること	ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	大学（大学院など）の正規課程での学習	その他	不明・無回答
15～19歳	N= 5	-	-	20.0	40.0	-	-
20～29歳	N= 10	20.0	-	-	10.0	-	-
30～39歳	N= 17	-	11.8	5.9	11.8	5.9	-
40～49歳	N= 22	27.3	13.6	22.7	4.5	-	-
50～59歳	N= 20	30.0	5.0	-	5.0	-	-
60～69歳	N= 25	8.0	24.0	8.0	-	-	4.0
70歳以上	N= 43	18.6	27.9	4.7	2.3	2.3	2.3

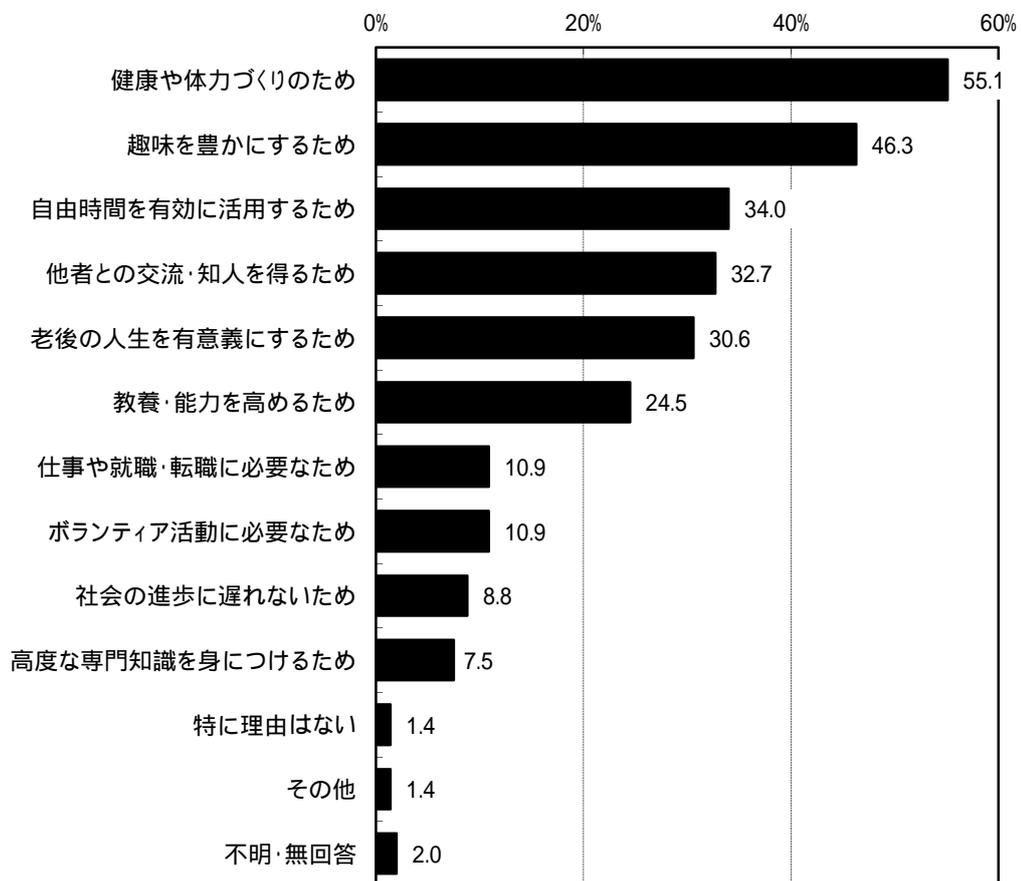
〔問 19「ある」の回答者〕

問 19 - (2) 生涯学習・文化・スポーツなどの活動をはじめたきっかけは何ですか
(複数回答)

生涯学習・文化・スポーツなどの活動をはじめたきっかけについてみると、「健康や体力づくりのため」が55.1%と最も高く、次いで「趣味を豊かにするため」が46.3%となっています。続いて「自由時間を有効に活用するため」「他者との交流・知人を得るため」「老後の人生を有意義にするため」が30~34%台となっており、ほぼ並んでいます。

年齢別でみると、15~19歳・30~49歳・60~69歳では「健康や体力づくりのため」、20~29歳では「趣味を豊かにするため」「教養・能力を高めるため」、50~59歳では「趣味を豊かにするため」、70歳以上では「老後の人生を有意義にするため」が最も高くなっています。

N=147



その他回答

内容	件数
多忙で時間がない	2
資格の取得のため	1
近所の方とスポーツしたり、散歩したりしている	1

【年齢別】

単位：%

年齢クロス		趣味を豊かにするため	教養・能力を高めるため	仕事や就職・転職に必要なため	ボランティア活動に必要なため	高度な専門知識を身につけるため	自由時間を有効に活用するため	他者との交流・知人を得るため	老後の人生を有意義にするため	社会の進歩に遅れないため	健康や体力づくりのため	特に理由はない	その他	不明・無回答
15～19歳	N= 5	20.0	60.0	20.0	-	-	20.0	-	-	-	80.0	-	-	-
20～29歳	N= 10	50.0	50.0	40.0	-	20.0	10.0	-	20.0	10.0	30.0	-	-	-
30～39歳	N= 17	23.5	35.3	23.5	11.8	11.8	23.5	29.4	5.9	5.9	70.6	-	-	-
40～49歳	N= 22	36.4	40.9	9.1	9.1	9.1	36.4	36.4	4.5	9.1	54.5	-	4.5	-
50～59歳	N= 20	65.0	20.0	20.0	5.0	15.0	30.0	15.0	20.0	5.0	55.0	5.0	5.0	-
60～69歳	N= 25	44.0	12.0	-	12.0	4.0	44.0	32.0	36.0	-	60.0	4.0	-	4.0
70歳以上	N= 43	53.5	14.0	2.3	16.3	2.3	37.2	53.5	58.1	18.6	53.5	-	-	4.7

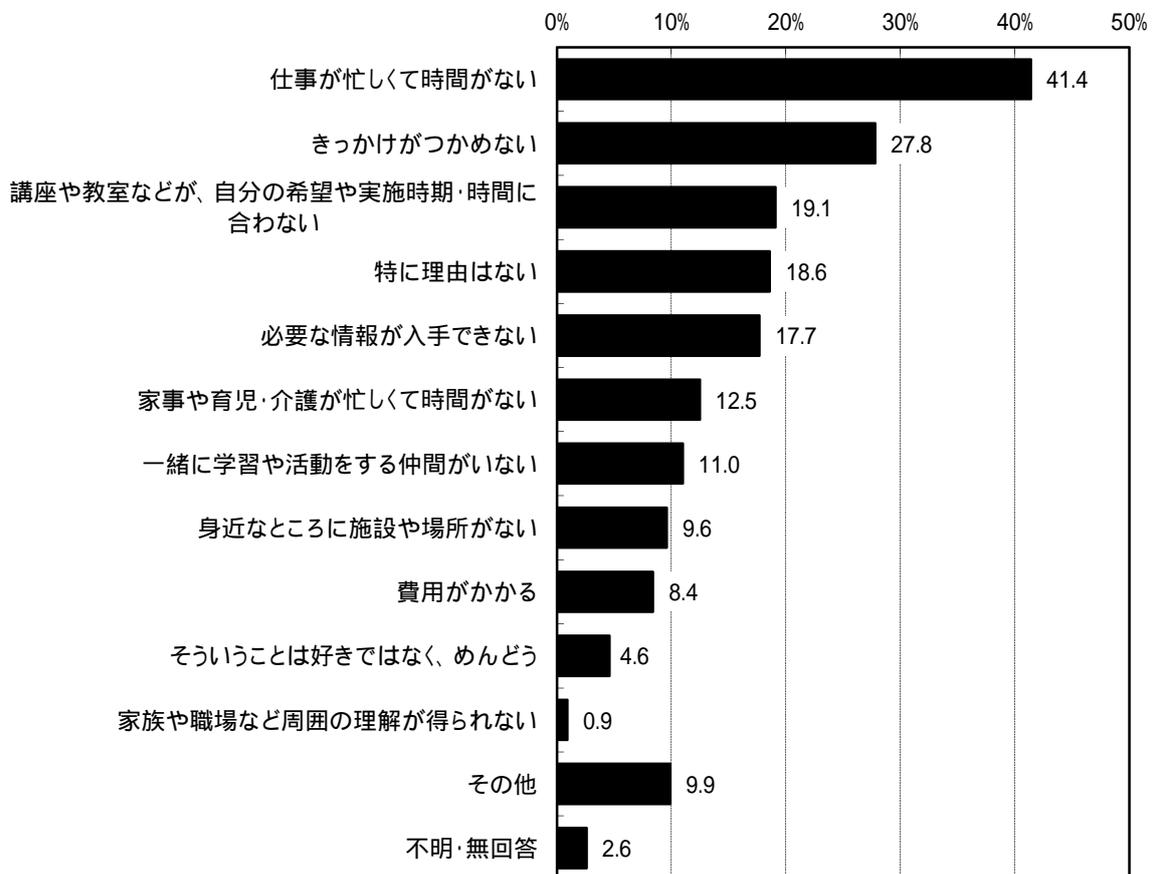
〔問 19「ない」の回答者〕

問 19 - (3) 生涯学習・文化・スポーツなどの活動を行っていない理由は何ですか
(複数回答)

生涯学習・文化・スポーツなどの活動を行っていない理由についてみると、「仕事が忙しくて時間がない」が41.4%と最も高く、次いで「きっかけがつかめない」が27.8%となっています。「講座や教室などが、自分の希望や実施時期・時間に合わない」「特に理由はない」「必要な情報が入手できない」は17~19%台となっており、ほぼ並んでいます。

年齢別でみると、15~19歳・70歳以上で「きっかけがつかめない」、20~69歳では「仕事が忙しくて時間がない」が最も高くなっています。

N=345



その他回答

内 容	件数	内 容	件数
仕事などで多忙である	8	今後前向きに取り組む	1
病気なので	5	自分の趣味に合うものがない	1
高齢のため	4	イベントが少ない	1
興味がない・必要を感じない	3	体力がない	1
知らない・わからない	3	地方で下宿しているから	1

【年齢別】

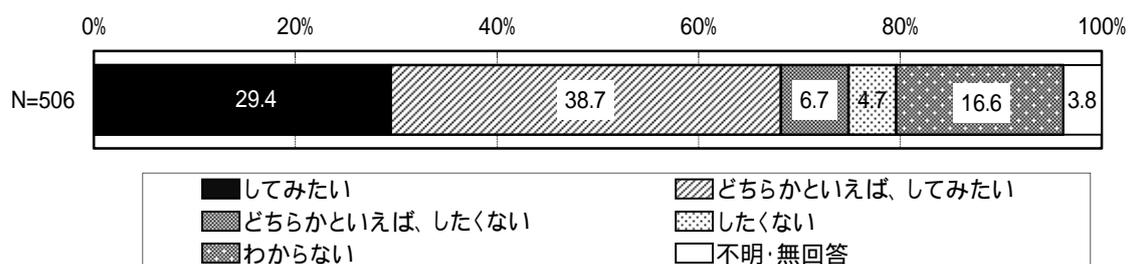
単位：%

年齢クロス		仕事が忙しくて時間がない	家事や育児・介護が忙しくて時間がない	費用がかかる	必要な情報が入手できない	一緒に学習や活動をする仲間がない	身近なところに施設や場所がない	講座や教室などが、自分の希望や実施時期・時間に合わない	家族や職場など周囲の理解が得られない	きつかけがつかめない	そういうことは好きではなく、めんどろ	特に理由はない	その他	不明・無回答
15～19歳	N= 12	33.3	-	8.3	33.3	33.3	25.0	8.3	-	41.7	-	25.0	16.7	-
20～29歳	N= 25	48.0	12.0	16.0	32.0	8.0	12.0	24.0	4.0	36.0	4.0	20.0	12.0	-
30～39歳	N= 43	48.8	32.6	2.3	16.3	4.7	7.0	18.6	-	23.3	2.3	14.0	7.0	4.7
40～49歳	N= 62	62.9	17.7	12.9	12.9	11.3	8.1	22.6	1.6	24.2	3.2	12.9	6.5	-
50～59歳	N= 59	55.9	-	10.2	23.7	6.8	10.2	20.3	1.7	27.1	5.1	11.9	5.1	1.7
60～69歳	N= 82	34.1	9.8	4.9	9.8	15.9	7.3	20.7	-	25.6	4.9	23.2	11.0	3.7
70歳以上	N= 56	5.4	12.5	7.1	16.1	10.7	12.5	10.7	-	35.7	8.9	28.6	17.9	3.6

問 20 今後、自分から進んで生涯学習・文化・スポーツなどの活動をしてみたいと思いますか（単数回答）

今後、自分から進んで生涯学習・文化・スポーツなどの活動をしてみたいと思うかについてみると、「どちらかといえば、してみたい」が 38.7%と最も高く、次いで「してみたい」が 29.4%、「わからない」が 16.6%となっています。

年齢別でみると、15～69 歳では「どちらかといえば、してみたい」、70 歳以上では「してみたい」が最も高くなっています。



【年齢別】

単位：%

年齢クロス		してみたい	どちらかとい えば、 してみたい	どちらかとい えば、 したくない	したくない	わからない	不明・ 無回答
15～19歳	N= 18	27.8	44.4	-	5.6	16.7	5.6
20～29歳	N= 37	32.4	37.8	10.8	5.4	13.5	-
30～39歳	N= 60	31.7	45.0	3.3	3.3	15.0	1.7
40～49歳	N= 84	27.4	42.9	8.3	3.6	15.5	2.4
50～59歳	N= 81	34.6	39.5	2.5	1.2	18.5	3.7
60～69歳	N= 111	22.5	40.5	5.4	9.0	17.1	5.4
70歳以上	N= 102	31.4	26.5	12.7	4.9	19.6	4.9

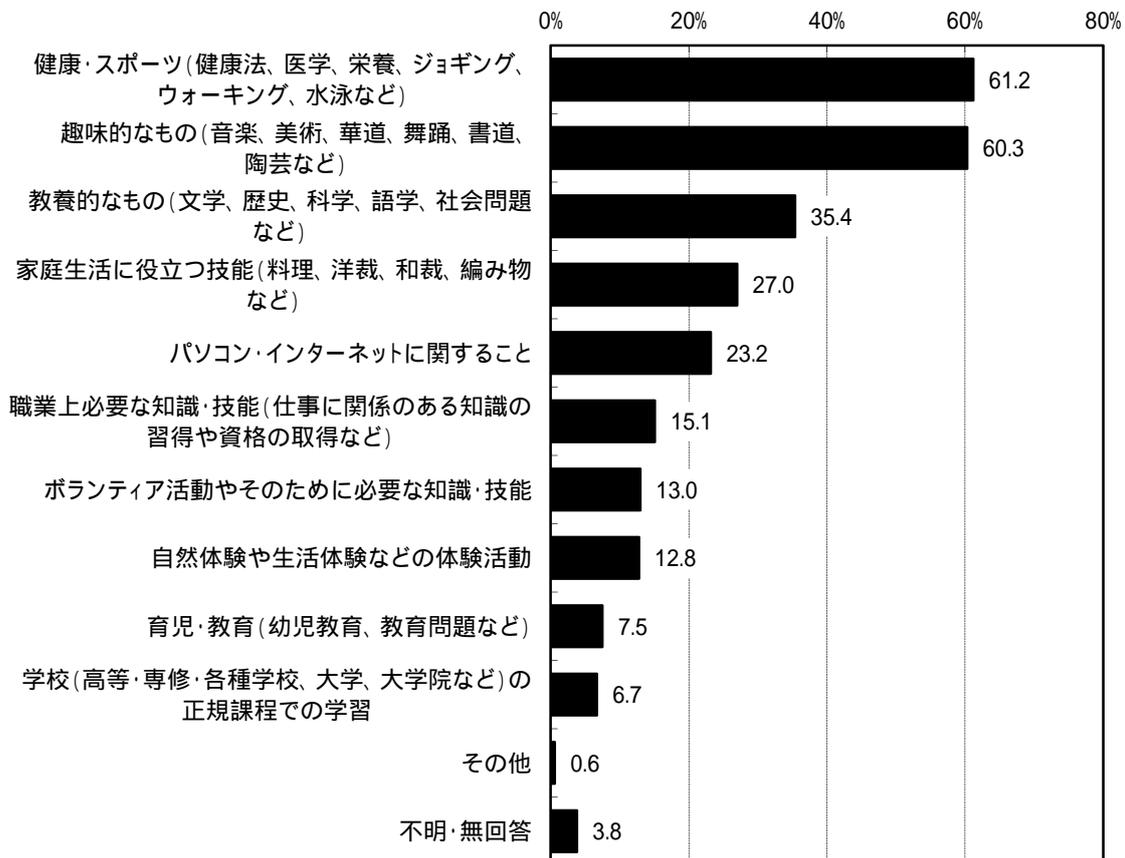
〔問20「してみたい」または「どちらかといえば、してみたい」の回答者〕

問20-(1) どのような生涯学習・文化・スポーツなどの活動をしてみたいと思いますか(複数回答)

どのような生涯学習・文化・スポーツなどの活動をしてみたいかについてみると、「健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、ウォーキング、水泳など)」「趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など)」が6割以上を占めています。次いで「教養的なもの(文学、歴史、科学、語学、社会問題など)」が35.4%、「家庭生活に役立つ技能(料理、洋裁、和裁、編み物など)」が27.0%となっています。

年齢別でみると、15~19歳・40~49歳では「趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など)」、20~39歳・50歳以上では「健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、ウォーキング、水泳など)」が最も高くなっています。

N=345



その他回答

内容	件数
国際問題・政治・経済	1
マー جان	1

【年齢別】

単位：%

年齢クロス		趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など）	教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）	健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、ウォーキング、水泳など）	家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）	育児・教育（幼児教育、教育問題など）	職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）
15～19歳	N= 13	53.8	23.1	38.5	38.5	15.4	15.4
20～29歳	N= 26	50.0	34.6	57.7	34.6	7.7	34.6
30～39歳	N= 46	60.9	30.4	69.6	37.0	21.7	19.6
40～49歳	N= 59	69.5	49.2	61.0	33.9	11.9	30.5
50～59歳	N= 60	61.7	31.7	63.3	23.3	8.3	18.3
60～69歳	N= 70	62.9	30.0	65.7	24.3	-	2.9
70歳以上	N= 59	50.8	32.2	54.2	15.3	-	-

年齢クロス		パソコン・インターネットに関すること	ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	学校（高等・専修・各種学校、大学院など）の正規課程での学習	その他	不明・無回答
15～19歳	N= 13	23.1	-	7.7	23.1	-	-
20～29歳	N= 26	15.4	7.7	7.7	3.8	-	7.7
30～39歳	N= 46	13.0	13.0	19.6	4.3	2.2	4.3
40～49歳	N= 59	27.1	16.9	13.6	16.9	-	1.7
50～59歳	N= 60	26.7	8.3	13.3	6.7	-	-
60～69歳	N= 70	28.6	11.4	14.3	1.4	-	2.9
70歳以上	N= 59	20.3	16.9	6.8	1.7	1.7	8.5

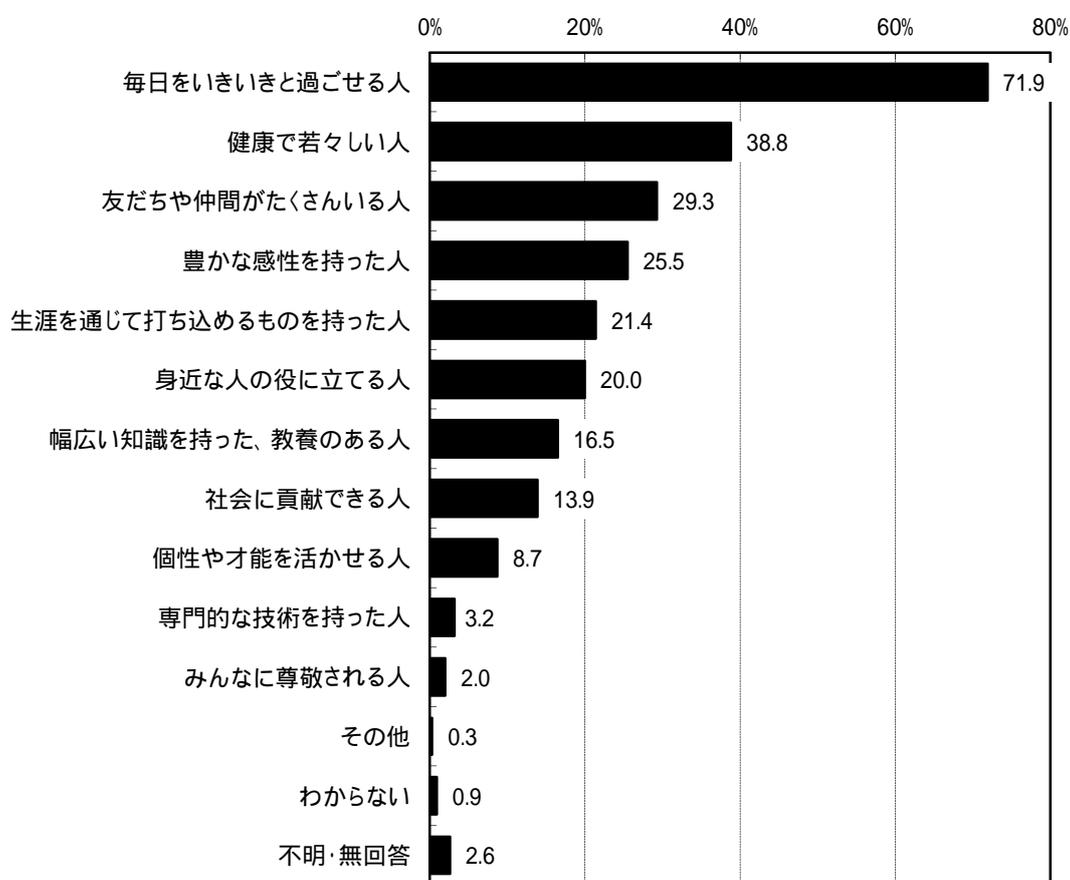
〔問 20「してみたい」または「どちらかといえば、してみたい」の回答者〕

問 20 - (2) 「生涯学習」を通じて、なりたい人間像を挙げるとすれば、以下のどれにあたりますか(複数回答)

「生涯学習」を通じて、なりたい人間像についてみると、「毎日をいきいきと過ごせる人」が7割以上となっています。次いで「健康で若々しい人」が38.8%、「友だちや仲間がたくさんいる人」が29.3%となっています。

年齢別でみると、すべての年齢において「毎日をいきいきと過ごせる人」が5割半ばから8割と、高い割合になっています。

N=345



その他回答への記入はありませんでした。

【年齢別】

単位：%

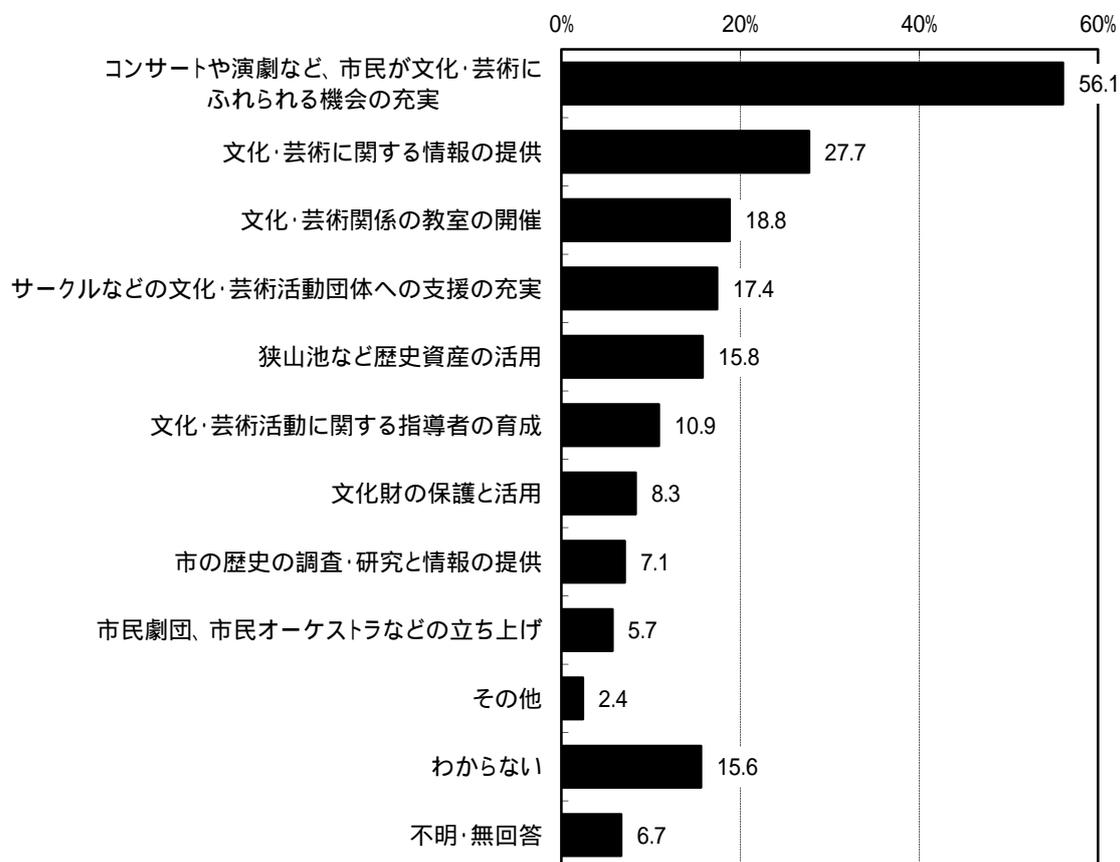
年齢クロス		毎日をいきいきと過ごせる人	健康で若々しい人	個性や才能を活かせる人	豊かな感性を持った人	生涯を通じて打ち込めるものを持った人	幅広い知識を持った、教養のある人	専門的な技術を持った人	友だちや仲間がたくさんいる人	身近な人の役に立てる人	社会に貢献できる人	みんなに尊敬される人	その他	わからない	不明・無回答
15～19歳	N= 13	61.5	15.4	38.5	23.1	7.7	23.1	7.7	15.4	23.1	7.7	7.7	-	-	-
20～29歳	N= 26	61.5	23.1	15.4	34.6	23.1	30.8	7.7	38.5	19.2	11.5	3.8	-	-	3.8
30～39歳	N= 46	73.9	26.1	6.5	17.4	26.1	17.4	2.2	21.7	30.4	10.9	2.2	-	-	4.3
40～49歳	N= 59	57.6	40.7	13.6	25.4	27.1	22.0	5.1	27.1	11.9	15.3	1.7	-	3.4	1.7
50～59歳	N= 60	75.0	48.3	5.0	23.3	15.0	10.0	5.0	36.7	18.3	16.7	-	-	1.7	-
60～69歳	N= 70	80.0	50.0	5.7	25.7	22.9	14.3	-	32.9	18.6	12.9	-	1.4	-	1.4
70歳以上	N= 59	79.7	35.6	5.1	28.8	23.7	13.6	1.7	23.7	20.3	15.3	5.1	-	-	5.1

問 21 大阪狭山市の文化・芸術活動をより充実させていくために、どのような取り組みが必要だと思いますか（複数回答）

大阪狭山市の文化・芸術活動をより充実させていくために、どのような取り組みが必要だと思うかについてみると、「コンサートや演劇など、市民が文化・芸術にふれられる機会の充実」が56.1%と最も高く、次いで「文化・芸術に関する情報の提供」が27.7%となっています。続いて「文化・芸術関係の教室の開催」「サークルなどの文化・芸術活動団体への支援の充実」が17~18%台となっており、ほぼ並んでいます。

年齢別でみると、すべての年齢において「コンサートや演劇など、市民が文化・芸術にふれられる機会の充実」が5割弱から6割半ばと、高い割合になっています。

N=506



その他回答

内 容	件数	内 容	件数
親しみやすく誰もが参加できる活動	3	得た知識を子供に伝える機会をつくる	1
若い世代が文化・芸術活動に参加できるような 礎地づくり	1	老人が何かお手伝い出来ること	1
学校での取り組み・市内合唱コンクールなど	1	市会議員の質の向上	1
体育館が少ない	1	文化芸術の充実は望んでいない	1
情報提供の充実	1	興味がない	1

【年齢別】

単位：%

年齢クロス		コンサートや演劇など、市民が文化・芸術にふれられる機会の充実	文化・芸術に関する情報の提供	文化・芸術活動に関する指導者の育成	文化・芸術関係の教室の開催	サークルなどの文化・芸術活動団体への支援の充実	市民劇団、市民オーケストラなどの立ち上げ
15～19歳	N= 18	55.6	22.2	-	11.1	11.1	11.1
20～29歳	N= 37	54.1	29.7	8.1	8.1	27.0	10.8
30～39歳	N= 60	53.3	35.0	11.7	23.3	11.7	5.0
40～49歳	N= 84	58.3	22.6	15.5	16.7	20.2	4.8
50～59歳	N= 81	64.2	33.3	4.9	22.2	19.8	4.9
60～69歳	N= 111	57.7	20.7	14.4	20.7	19.8	5.4
70歳以上	N= 102	49.0	30.4	9.8	12.7	9.8	4.9

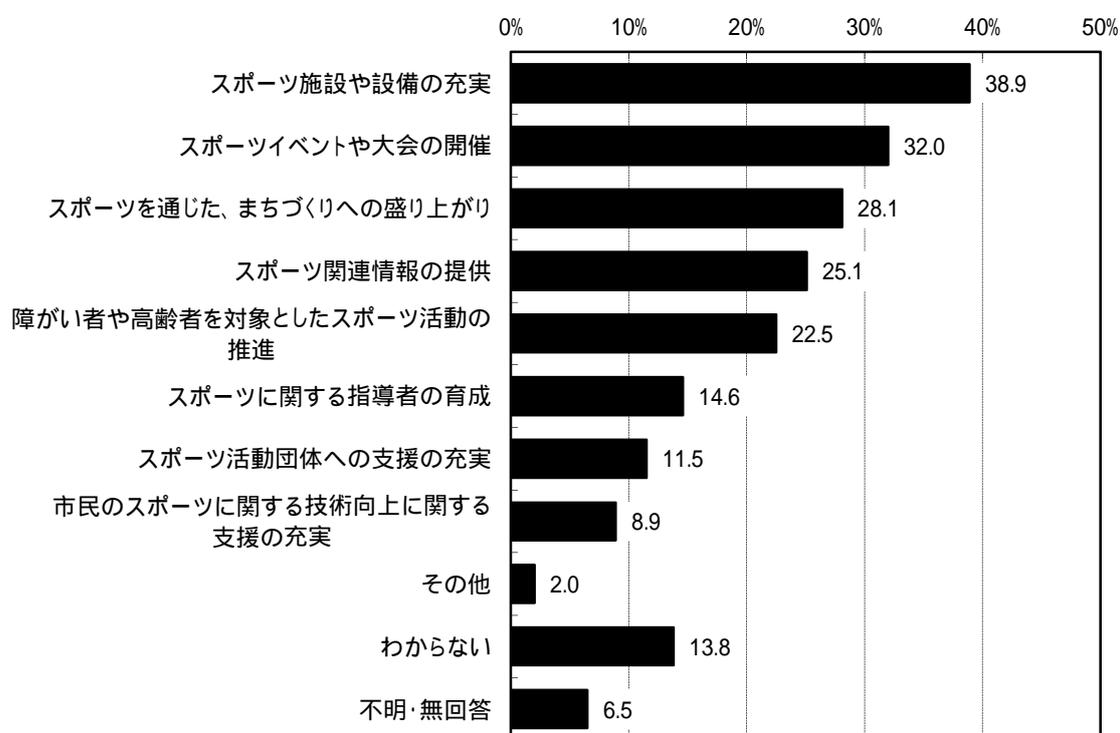
年齢クロス		市の歴史の調査・研究と情報の提供	文化財の保護と活用	狭山池など歴史資産の活用	その他	わからない	不明・無回答
15～19歳	N= 18	-	11.1	27.8	-	16.7	11.1
20～29歳	N= 37	2.7	2.7	13.5	5.4	18.9	5.4
30～39歳	N= 60	5.0	8.3	18.3	1.7	15.0	3.3
40～49歳	N= 84	6.0	9.5	17.9	6.0	13.1	6.0
50～59歳	N= 81	4.9	8.6	9.9	1.2	13.6	2.5
60～69歳	N= 111	7.2	9.0	15.3	-	17.1	6.3
70歳以上	N= 102	14.7	8.8	17.6	2.9	18.6	12.7

問 22 大阪狭山市のスポーツ活動をより充実させていくために、どのような取組みが必要だと思いますか（複数回答）

大阪狭山市のスポーツ活動をより充実させていくために、どのような取組みが必要だと思うかについてみると、「スポーツ施設や設備の充実」が38.9%と最も高く、次いで「スポーツイベントや大会の開催」が32.0%、「スポーツを通じた、まちづくりへの盛り上がり」が28.1%となっています。

年齢別でみると、15～19歳・60～69歳で「スポーツイベントや大会の開催」、20～59歳・70歳以上で「スポーツ施設や設備の充実」が最も高くなっています。

N=506



その他回答

内 容	件数	内 容	件数
スポーツの体験機会を増やす	3	スポーツ活動団体の情報発信	1
インストラクターの派遣	1	市民プールがあれば良い	1
身体の柔軟性の向上	1	学校施設を借りている団体のマナーがなっていないので、活動することを嫌に思える	1

【年齢別】

単位：%

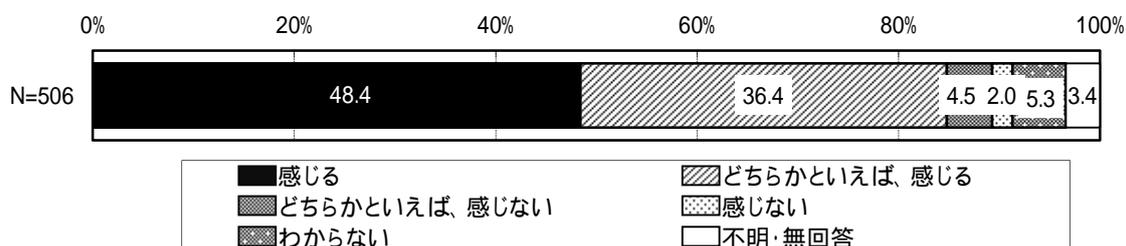
年齢クロス		盛り上がり	スポーツ関連情報の提供	スポーツに関する指導者の育成	スポーツイベントや大会の開催	市民のスポーツに関する技術向上に関する支援の充実	スポーツ活動団体への支援の充実	スポーツ施設や設備の充実	障がい者や高齢者を対象としたスポーツ活動の推進	その他	わからない	不明・無回答
15～19歳	N= 18	22.2	5.6	-	66.7	5.6	22.2	38.9	-	5.6	11.1	5.6
20～29歳	N= 37	27.0	27.0	8.1	40.5	-	8.1	48.6	21.6	-	10.8	-
30～39歳	N= 60	28.3	25.0	6.7	36.7	8.3	6.7	43.3	16.7	1.7	20.0	1.7
40～49歳	N= 84	27.4	27.4	15.5	35.7	8.3	14.3	48.8	13.1	1.2	10.7	6.0
50～59歳	N= 81	27.2	28.4	13.6	24.7	14.8	16.0	42.0	19.8	2.5	11.1	1.2
60～69歳	N= 111	27.9	21.6	20.7	29.7	7.2	9.9	27.9	28.8	0.9	18.0	9.9
70歳以上	N= 102	30.4	26.5	14.7	25.5	11.8	8.8	33.3	30.4	3.9	12.7	12.7

5. 大阪狭山市への愛着や市の特長・誇りについて

問 23 大阪狭山市に愛着を感じておられますか（単数回答）

大阪狭山市に愛着を感じているかについてみると、「感じる」が48.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば、感じる」が36.4%となっています。

年齢別でみると、15～49歳・60歳以上で「感じる」、50～59歳で「どちらかといえば、感じる」が最も高くなっています。さらに居住年数別でみると、5年未満から11年～20年では「どちらかといえば、感じる」、21年～30年・30年以上では「感じる」が最も高くなっています。



【年齢別と居住年数別】

単位：%

年齢クロス		感じる	どちらかといえば、感じる	どちらかといえば、感じない	感じない	わからない	不明・無回答
15～19歳	N= 18	44.4	38.9	-	-	11.1	5.6
20～29歳	N= 37	51.4	27.0	10.8	5.4	5.4	-
30～39歳	N= 60	48.3	41.7	3.3	-	6.7	-
40～49歳	N= 84	39.3	38.1	8.3	6.0	3.6	4.8
50～59歳	N= 81	39.5	48.1	3.7	1.2	6.2	1.2
60～69歳	N= 111	53.2	32.4	3.6	1.8	4.5	4.5
70歳以上	N= 102	57.8	29.4	2.0	-	4.9	5.9

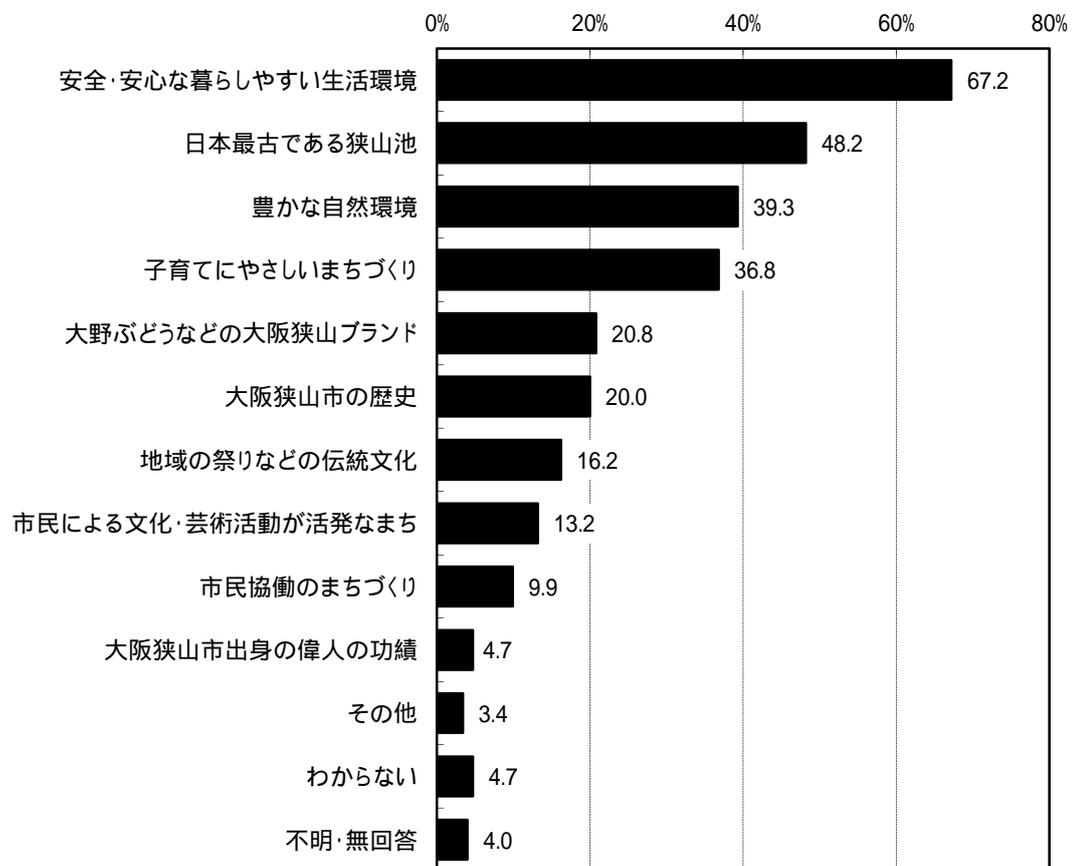
居住年数クロス		感じる	どちらかといえば、感じる	どちらかといえば、感じない	感じない	わからない	不明・無回答
5年未満	N= 50	26.0	34.0	14.0	4.0	20.0	2.0
5年～10年	N= 44	43.2	47.7	4.5	2.3	2.3	-
11年～20年	N= 100	41.0	42.0	5.0	2.0	7.0	3.0
21年～30年	N= 99	55.6	30.3	4.0	3.0	5.1	2.0
31年以上	N= 201	56.2	34.8	2.0	1.0	1.5	4.5

問 24 大阪狭山市の特長や誇りとして、大事にしていきたいと思うことはどのようなことですか（複数回答）

大阪狭山市の特長や誇りとして、大事にしていきたいと思うことについてみると、「安全・安心な暮らしやすい生活環境」が67.2%と最も高く、次いで「日本最古である狭山池」が48.2%となっています。続いて「豊かな自然環境」「子育てにやさしいまちづくり」が36～39%台となっており、ほぼ並んでいます。

年齢別でみると、15～19歳では「日本最古である狭山池」、20歳以上では「安全・安心な暮らしやすい生活環境」が最も高くなっています。

N=506



その他回答

内 容	件数	内 容	件数
近大病院・医療環境の充実	4	元気に老いる	1
給食	2	道の駅をつくり、農家の野菜などを売ったらいいと思う	1
パチンコ店・ゲームセンター等が無いこと	2	現在残っている自然環境を大切にする	1
狭山池まつり	1	特にない	1
さやりん	1		

【年齢別】

単位：%

年齢クロス		大阪狭山市の歴史	大阪狭山市出身の偉人の功績	日本最古である狭山池	地域の祭りなどの伝統文化	豊かな自然環境	大野ぶどうなどの大阪狭山ブランド	安全・安心な暮らしやすい生活環境	市民による文化・芸術活動が活発なまち	市民協働のまちづくり	子育てにやさしいまちづくり	その他	わからない	不明・無回答
15～19歳	N= 18	33.3	5.6	55.6	11.1	33.3	22.2	44.4	5.6	5.6	33.3	5.6	11.1	5.6
20～29歳	N= 37	16.2	2.7	51.4	13.5	43.2	29.7	67.6	5.4	8.1	37.8	-	8.1	-
30～39歳	N= 60	15.0	3.3	53.3	20.0	38.3	23.3	71.7	11.7	10.0	56.7	5.0	5.0	-
40～49歳	N= 84	15.5	4.8	41.7	15.5	27.4	19.0	71.4	14.3	7.1	41.7	2.4	6.0	4.8
50～59歳	N= 81	8.6	1.2	40.7	21.0	35.8	16.0	61.7	9.9	6.2	34.6	4.9	3.7	2.5
60～69歳	N= 111	23.4	5.4	45.9	10.8	45.0	18.9	72.1	14.4	18.9	35.1	1.8	2.7	3.6
70歳以上	N= 102	32.4	5.9	55.9	18.6	45.1	22.5	64.7	18.6	6.9	25.5	4.9	4.9	7.8

6. 教育に関する施策全般について

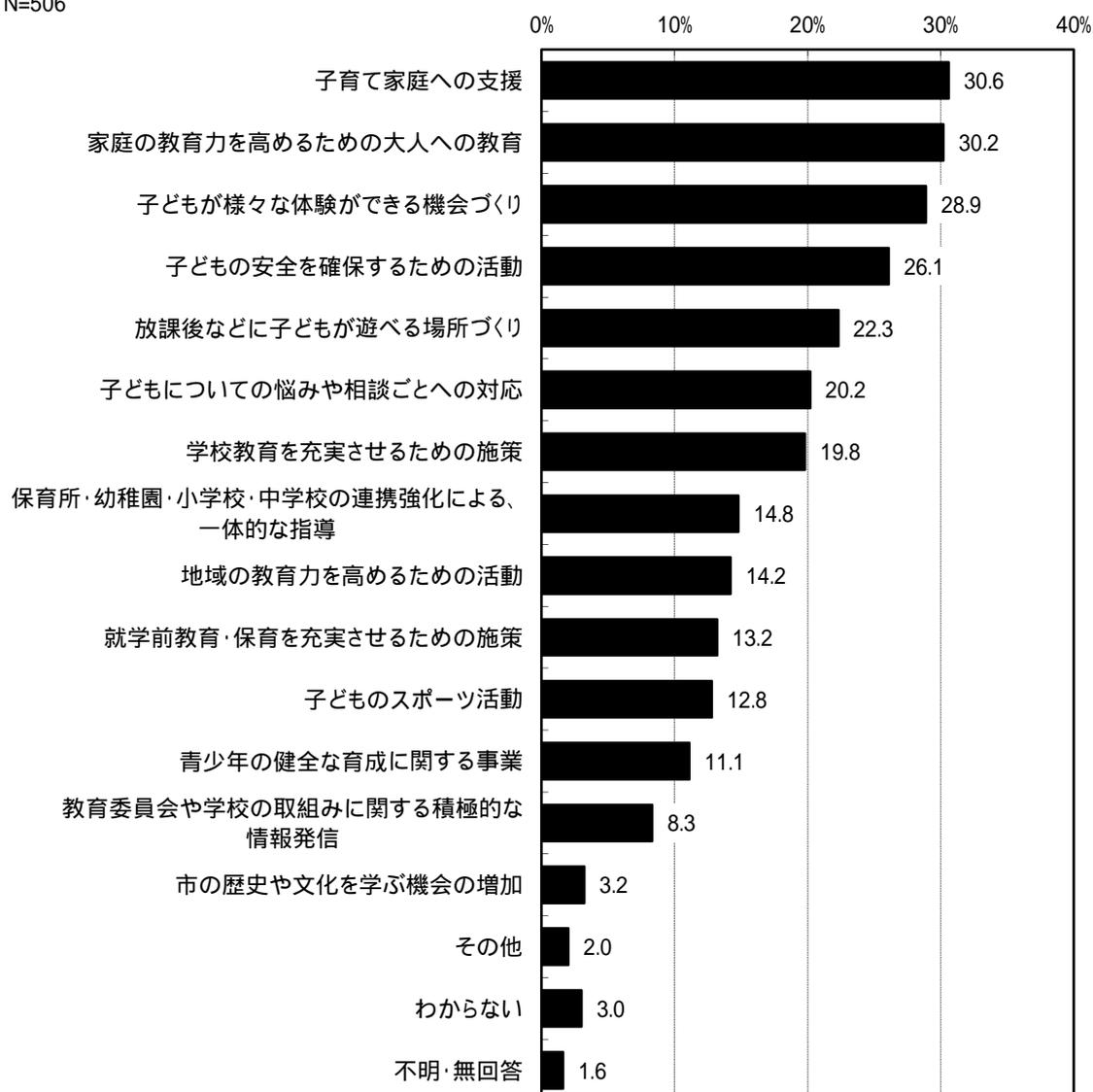
問 25 大阪狭山市の子どもが健やかに育まれるようにするために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか（複数回答）

大阪狭山市の子どもが健やかに育まれるようにするために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思うかについてみると、「子育て家庭への支援」「家庭の教育力を高めるための大人への教育」が30%台となっており、ほぼ並んでいます。次いで「子どもが様々な体験ができる機会づくり」が28.9%、「子どもの安全を確保するための活動」が26.1%となっています。

年齢別でみると、15～19歳・30～49歳では「子育て家庭への支援」、20～29歳では「子どもの安全を確保するための活動」、50～59歳では「子どもが様々な体験ができる機会づくり」、60歳以上では「家庭の教育力を高めるための大人への教育」が最も高くなっています。

家庭への教育や支援と、子ども自身が安全に遊んだり体験したりできる場や機会づくりが求められています。

N=506



その他回答

内 容	件数	内 容	件数
教師へのサポート・フォロー体制をつくる	3	保護者への経済的援助	1
教育委員・市の担当職員への教育	2	大人と子どもが主体になれる環境づくり	1
保護者の意識改革が必要	1		

【年齢別】

単位：%

年齢クロス		家庭の教育力を高めるための大人への教育	地域の教育力を高めるための活動	子育て家庭への支援	子どもについての悩みや相談ごとへの対応	就学前教育・保育を充実させるための施策	子どもが様々な体験ができる機会づくり	子どものスポーツ活動	子どもの安全を確保するための活動	学校教育を充実させるための施策
15～19歳	N= 18	22.2	11.1	33.3	27.8	5.6	22.2	27.8	22.2	16.7
20～29歳	N= 37	24.3	5.4	32.4	13.5	18.9	29.7	21.6	35.1	24.3
30～39歳	N= 60	21.7	15.0	51.7	23.3	21.7	28.3	11.7	20.0	21.7
40～49歳	N= 84	32.1	14.3	36.9	17.9	7.1	38.1	17.9	31.0	23.8
50～59歳	N= 81	30.9	11.1	28.4	14.8	12.3	33.3	9.9	19.8	13.6
60～69歳	N= 111	34.2	13.5	27.0	27.9	13.5	26.1	11.7	27.0	14.4
70歳以上	N= 102	34.3	18.6	18.6	16.7	12.7	22.5	6.9	27.5	25.5

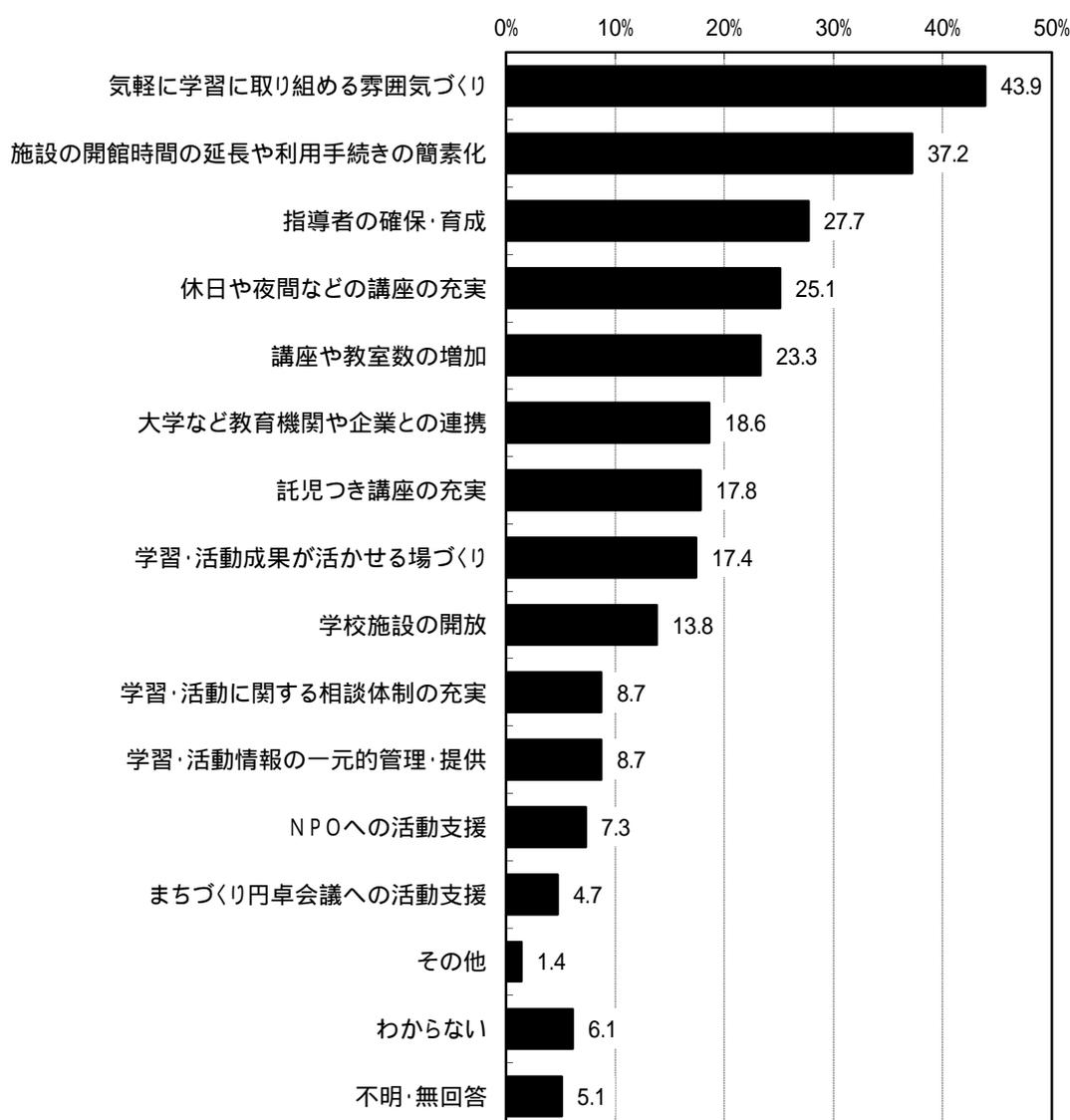
年齢クロス		放課後などに子どもが遊べる場所づくり	青少年の健全な育成に関する事業	市の歴史や文化を学ぶ機会の増加	保育所の連携強化による、一時的な指導	教育委員会の積極的な情報発信に関する取り組み	その他	わからない	不明・無回答
15～19歳	N= 18	22.2	11.1	-	16.7	-	-	16.7	-
20～29歳	N= 37	18.9	8.1	2.7	8.1	10.8	-	2.7	-
30～39歳	N= 60	33.3	5.0	1.7	6.7	1.7	3.3	1.7	-
40～49歳	N= 84	17.9	7.1	3.6	11.9	6.0	3.6	2.4	1.2
50～59歳	N= 81	27.2	16.0	2.5	14.8	7.4	2.5	-	2.5
60～69歳	N= 111	18.9	15.3	2.7	15.3	12.6	-	3.6	0.9
70歳以上	N= 102	21.6	11.8	5.9	22.5	11.8	2.0	3.9	2.0

問 26 今後、生涯学習の一環として、人々が学びたいときに学べるようにするために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか（複数回答）

今後、生涯学習の一環として、人々が学びたいときに学べるようにするために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思うかについてみると、「気軽に学習に取り組める雰囲気づくり」が43.9%と最も高く、次いで「施設の開館時間の延長や利用手続きの簡素化」が37.2%、「指導者の確保・育成」が27.7%となっています。

年齢別でみると、15～19歳では「施設の開館時間の延長や利用手続きの簡素化」、20～39歳では「施設の開館時間の延長や利用手続きの簡素化」「気軽に学習に取り組める雰囲気づくり」、40歳以上では「気軽に学習に取り組める雰囲気づくり」が最も高くなっています。

N=506



その他回答

内 容	件数	内 容	件数
市民のコミュニティなどの仲間づくり	2	祭りの健全化(子どもへの悪影響が懸念される)	1
あいさつ	1	参加するのにお金がかかりすぎる	1
夜間外出しても安心できる治安のいいまちづくり	1		

【年齢別】

単位: %

年齢クロス		施設の開設時間の延長や 利用手続きの簡素化	講座や教室数の増加	指導者の確保・育成	休日や夜間などの講座の充実	託児つき講座の充実	気軽に学習に取り組める 雰囲気づくり	学習・活動成果が活かせる 場づくり	学習・活動に関する相談体制 の充実
15～19歳	N= 18	50.0	11.1	11.1	5.6	11.1	38.9	16.7	11.1
20～29歳	N= 37	43.2	16.2	18.9	27.0	29.7	43.2	21.6	13.5
30～39歳	N= 60	38.3	23.3	20.0	30.0	33.3	38.3	26.7	8.3
40～49歳	N= 84	34.5	29.8	26.2	35.7	15.5	42.9	23.8	9.5
50～59歳	N= 81	34.6	28.4	22.2	32.1	16.0	37.0	14.8	7.4
60～69歳	N= 111	37.8	20.7	34.2	22.5	15.3	46.8	11.7	6.3
70歳以上	N= 102	36.3	20.6	36.3	13.7	10.8	51.0	12.7	9.8

年齢クロス		学習・活動情報の一元的 管理・提供	まちづくり円卓会議への 活動支援	N P O への活動支援	学校施設の開放	大学など教育機関や企業との 連携	その他	わからない	不明・無回答
15～19歳	N= 18	11.1	-	11.1	11.1	16.7	-	11.1	5.6
20～29歳	N= 37	2.7	5.4	8.1	8.1	24.3	2.7	5.4	5.4
30～39歳	N= 60	6.7	1.7	15.0	20.0	18.3	3.3	5.0	-
40～49歳	N= 84	11.9	2.4	8.3	15.5	23.8	-	3.6	3.6
50～59歳	N= 81	8.6	2.5	2.5	13.6	28.4	1.2	2.5	6.2
60～69歳	N= 111	6.3	6.3	7.2	9.9	9.0	1.8	10.8	2.7
70歳以上	N= 102	10.8	8.8	4.9	15.7	14.7	1.0	6.9	8.8

問 27 その他、ご意見などがございましたら、ご自由にご記入ください（自由回答）

カテゴリ	内 容	件数
就学前教育・保育	保育園入園の申し込み後の対応の改善	2
	保育園を増やしてほしい	1
	幼稚園の給食回数を増やしてほしい	1
	市民のための常設子ども広場があれば	1
	ぼっぼえんをよく利用する。係の方の対応もよく、子どもも楽しそうにしている	1
学校教育	小中高生の学校外での過ごし方、マナー・モラルに対する積極的な指導を望む	5
	教師の指導力の向上	3
	子どもが盗難やいじめにあったが、先生がそれを認めようとしなかった。子どもや親の言うことをよく聞いて対処していただきたい	2
	今後とも子どもたちをよろしく願います	2
	基本的な道徳観を、改めて学ぶ機会を設けることが必要	2
	小学校の登下校中のマナーを改善してほしい	1
	地域の学校の体育祭に行ったら、門で帰されたりと、学校がどのようなことをしているのかわからない	1
	音楽教育に力を注いでほしい	1
	日本人としての言語・歴史・文化を学んだうえでの英語教育だと考える	1
	体力の向上に積極的に取り組む	1
	いじめに対する取組みに力を入れる	1
	各小学校の指定制服を作ること	1
	中学校カバンの日々の持ち帰りについて、子どもが重そうにしている。対応してほしい	1
	土曜日の授業を再開すること	1
	学校・公園・球技場を芝生にする	1
	全学校集まったの合唱コンクールや体育祭に取組んでみては	1
	教育委員会は各学校の自主性や個性を活かし、育てることにもっと力を注いでほしい	1
	単なる自立ではなく、社会・世界に対して自分が何ができるのかを考え、育ててほしい	1
	教師に対するフォロー体制を整備してほしい	1
	家庭教育・地域教育	家庭・親への教育の充実
マンションなどの新しい地区と旧地区の交わりが少なく、地域の意識が薄れていくように感じる		2
声かけを積極的に実施しているが、不審者に間違われるのではないかと危惧する		2
親が子を愛し、子が親を大切に人間を育てるようにしたい		1
注意を受けた子どもの親の対応が気になり、注意できない人がいるのではないかと		1
常に子どもから目を離さず、ほめて育てることが大切だと思う		1
子どもに対する、周囲の大人の理解が必要だと思う		1
あいさつ・感謝ができる市民を増やしていきたい		1
地域の活動に、若い人がもっと関わりやすくなるように考えたい		1
生涯学習・文化	大阪狭山市出身の成功者を招いて、講演・講座を開いてほしい	1
	退職者や高齢者などの知識・技術をボランティアで子どもに伝える。積極的に人・ノウハウの募集を行うべきだと思う	1
	公民館・図書館などの公共施設が駅から遠く、利用しづらい	1
	講座によっては受講費が高いものがあり、違和感を感じる	1
	図書館の内容を充実させてほしい	1
	高齢者向けの施設の充実	1
	公共で勉強できる施設を増やしてほしい	1

カテゴリ	内 容	件数
スポーツ	気軽に球技ができる場所を提供してほしい	2
	大阪狭山市のテニスコートを、ケガ防止のためすべてオムニコートにほしい	1
	市営野球場の設備の充実を望む	1
医療	医療費の助成を中学生まで引き上げてほしい	2
	近大病院が移転するのは残念	1
まちづくり	自然環境と都市機能のバランスがよく、大阪狭山市は本当に住みやすい市だと思う	4
	今後ともがんばってください	4
	狭山池をシンボルに、いろいろなイベントを企画してほしい	2
	情報の集約・発信の強化	2
	100円パスの本数を増やしてほしい	2
	日本一通学路が安全なものになるよう取組んでいただきたい	1
	街灯が少ない	1
	狭山池の街灯の消灯時間を遅くしてほしい	1
	公園を増やしてほしい	1
	緑化事業に力を注いでほしい	1
	時計を増やしてほしい	1
	狭山池につながる川沿いの道の整備、街灯の設置で、景観と治安の向上をしてほしい	1
	危険箇所の改善	1
	猫やカラスが多いので、対応してほしい	1
	さやりんをもっと押し出してみても	1
	狭山池の近くに道の駅をつくってはどうか	1
	避難所の設備・様子の周知	1
	狭山駅の駐輪場が不便である	1
	観光に力を入れる	1
	良い所は拡大して、悪い所を改め、良い市にほしい	1
	秋のたんじりは迷惑。中止にすべき	1
	周辺の自治体と協力して、歴史や自然を押し出す	1
	大阪狭山市で生まれ育ってよかった	1
優れた人材を集めることが一番大切だと思うが、ボランティアですべて賄えるのか	1	
円卓会議	円卓会議の充実を望む	1
	広報誌の質が贅沢ではないか	1
	あまり関心がない	1
アンケート	大阪狭山市に住んで間もないため、わからない	5
	長期間学校教育から離れているため、教育に関することはわからないことが多い	1
	アンケートの設問を、もっと具体的にすべきだ	1
	いろいろ考えさせられるアンケートであった	1
	教育面の回答が難しかった	1
	意見や希望を活かしてほしい	1
	無作為・無記名とはいえ、個人の特定が可能と思われる	1
	高齢者に回答させるのか	1